



一般社団法人 千葉県社会福祉士会

第 10 回定時総会

資 料

開催日:2022年6月26(日) 13:30~(受付13:00~)

会 場:千葉県社会福祉協議会 社会福祉研修センター大研修室

次 第

□議事

議案第1号 2021年度事業報告及び決算報告について (2021年度監事監査報告書)	1
議案第2号 役員の選任について	39
議案第3号 規則第4号 報酬等に関する規則の変更について	40
議案第4号 規則第5号 負担金規則の改廃について	42
報告事項	
報告第1号 2022年度事業計画及び予算について	43
報告第2号 事業と予算のあり方検討委員会 「事業と予算のあり方」について報告書概要	57
報告第3号 「経営戦略会議」第1回～6回まとめについて	61

総会に諮る事項は定款第21条に定められた事項に限られ、また法人法第49条第3項の規定により予め通知した事項以外を議決することはできません。

会員から本会へ意見発信する機会を保障するため、議案に対する意見募集を行います。

議案に対しご意見のある方は、本会 Web サイト (<http://www.cswchiba.com/>) を参照の上 2022年6月9日(木)から同6月19日(日)必着でご提出願います。

また郵送・ファックスでもご意見を承りますので、千葉県社会福祉士会事務局までご提出ください。

なお、寄せられたご意見は取りまとめの上、会員氏名(姓のみ)および意見内容を Web サイトおよび総会会場にて公開いたします。予めご了承下さい。

＜議案に対するご意見のご提出先＞

※2022年6月19日(日)必着

名称：一般社団法人 千葉県社会福祉士会 事務局

住所：〒260-0026 千葉市中央区千葉港7番1号

ファーストビル千葉みなと

FAX：043-238-2867

議案第1号

2021年度事業報告及び決算報告について

以下に掲載する2021年度事業報告書及び決算報告について、総会の承認を求めます。

2021年度 事業報告

新型コロナウイルス感染症の影響による事業活動縮小の影響もあり、当初予算において大幅な赤字を計上せざるを得なくなっている状況などを踏まえ、事業毎の予算の精査だけでなく、会としての事業のあり方について検討する、「事業と予算のあり方検討委員会」を昨年度末より立ち上げて、8回にわたる議論を重ね、第4回理事会において事業と予算のあり方についての報告書が提出された。

理事会ではこの報告書を受けて、内部理事を中心とした「経営戦略会議」を計6回開催し、報告書の提案事項についてすぐに実施できるもの、中期的スパンで検討を要するもの、長期的スパンで検討を要するものの仕分けをおこない、2022年度第1回理事会及び第10回定時総会にて報告予定である。

事業と予算のあり方についての報告書でも提案されている、財政基盤の強化のための組織率の向上のために入会促進及び退会抑制については、日本会より提案があった若年層の入会促進キャンペーンと連動し、2022年度より、30歳以下を対象に入会金及び年会費を入会年度に限り無料として実施する入会促進キャンペーンを開始している。また、地域集会においても、資格を取得してまもない会員やまだ会員でない社会福祉士が参加しやすい企画を実施している。

ICT化の取り組みとして、会議や研修等のオンライン、又、事務局員等の在宅ワーク、PCのウイルス対策等の環境整備を行っている。今後、会としてICT化促進のため専門チーム等を検討中である。

また、当初約600万円の赤字計上であった2021年度予算も、年度途中において、事業の必要性と執行状況などを適正に管理した結果、第7回理事会において承認された補正予算においては、赤字を解消するに至っている。

災害対策として、避難所等で災害時要配慮者に対して福祉支援を行う「千葉県災害福祉支援チーム(DWAT)」の派遣体制整備のための千葉県災害福祉支援チーム(DWAT)先遣チーム員養成研修への参加、千葉県災害ボランティアセンター連絡会定例会議へ参加した。

他団体等の協働事業として、千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会と協議を再開し、政府のこども家庭庁開設、「子ども家庭福祉ソーシャルワーカー」資格化の動向に対して議論を重ね、ソーシャルワーク3団体協働事業として「子ども・若者の支援」の研修を実施した。

千葉県弁護士会、千葉県公認心理師協会を加えた5団体「福祉と司法の連絡協議会」では、例年どおり「千葉県福祉キャラバン」(県内の巡回講演)、「貧困問題に関する懇談会」、「暮らしとところの相談会」への参加協力を行った。

地域共生社会の実現にむけ、具体的な形として重層的支援体制整備事業が示され、県内でも複数の自治体で本事業が実施される中、相談支援のあり方を検証する必要がある。未曾有の事態が継続する中、私たちは社会福祉専門職団体としての役割を確認して活動を継続する必要がある。

1. 総会及び理事会の開催と会の運営

【総会】

第9回定時総会

開催日 2021年6月20日 千葉県教育会館 本館6階604会議室及びZOOM会議

議案第1号 2020年度事業報告及び決算報告について（2020年度監事監査報告書）

議案第2号 規則第2号会費等に関する規則の変更について

議案第3号 規則第6号正会員に対する苦情に関する手続き規則の変更について

【理事会】

第1回理事会

開催日 2021年5月9日 ファーストビル千葉みなと3階 事務局会議室及びWeb会議

出席者 渋沢・樽林・山口（定）・市原

（ZOOM）山口（利）・宮本・古澤・堀江・及川・秦野・谷口・前田・長嶋・四ノ宮・宮下・

安藤・服部・若林・山田・葛田・片山・常陸谷

欠席者 岡本・山下

<議事・報告>

- ・ 2021年度総会について
2020年度事業報告、決算報告及び監査報告
規則等の変更について
- ・ 若年層の会費減免について
- ・ ささえあい制度 負担金規則の廃止について
- ・ 倫理委員会苦情調査実施規程を苦情フローチャートについて
- ・ ぱあとなあ運営委員の選任について

第2回理事会

開催日 2021年6月20日 千葉県教育会館本館6階604会議室及びWeb会議

出席者 樽林・山口（利）・宮本・古澤・堀江・及川・秦野・谷口・前田・長嶋・四ノ宮・宮下・

安藤・葛田・片山・山口（定）・市原・岡本

（ZOOM）服部・若林・山田・山下・常陸谷

欠席者 渋沢

<議事・報告>

- ・ 千葉県社会福祉士会選挙管理委員会の公募について
- ・ スクールソーシャルワーク研修の予算について
- ・ 研修委員会委員の追加について
- ・ 司法福祉委員会委員の追加について

第3回理事会

開催日 2021年8月8日 ZOOMによるWeb会議

出席者 渋沢・山口（利）・宮本・古澤・樽林・堀江・及川・秦野・谷口・前田・長嶋・四ノ宮・

宮下・安藤・服部・若林・片山・葛田・山田・市原・常陸谷

欠席者 岡本・山下・山口（定）

<議事・報告>

- ・ 予算あり方委員会から検討経過の報告
- ・ 県からの研修の委託について
- ・ 入会費減免に伴う事業展開について
減免になることの広報方法
事業展開についての検討
新入会会員の委員会、世話人への情報提供

第4回理事会

開催日 2021年9月5日 ZOOMによるWeb会議

出席者 渋沢・宮本・古澤・樽林・堀江・及川・秦野・谷口・前田・長嶋・四ノ宮・宮下・服部・
若林・片山・葛田・山田・山口（定）市原・岡本・常陸谷

欠席者 山口（利）・安藤・山下

<議事・報告>

- ・ 「魅力ある会づくり」についての意見交換について
- ・ 事業と予算のあり方検討委員会の報告書について

第5回理事会

開催日 2021年11月7日 ファーストビル千葉みなと3階 事務局会議室及びWeb会議

出席者 渋沢・山口（利）・樽林・及川・谷口・長嶋・四ノ宮・岡本
（ZOOM）古澤・堀江・秦野・前田・宮下・服部・若林・山田・葛田・片山・山口（定）・
市原

欠席者 宮本・安藤・山下・常陸谷

<議事・報告>

- ・ 2022年度予算（案）について
- ・ 2022年度事業計画（案）について
- ・ 新入会・転入者について
- ・ 日本社会福祉士会からのメールの取り扱いについて（全理事への転送）
- ・ 千葉市と連携したホームレスの自立支援活動について
- ・ 規程第33号 報酬助成に関する規程の改正について

第6回理事会

開催日 2022年1月23日 ZOOMによるWeb会議

出席者 渋沢・山口（利）・宮本・古澤・樽林・及川・堀江・秦野・前田・長嶋・四ノ宮・宮下・
安藤・服部・若林・山田・葛田・片山・市原・岡本・常陸谷

欠席者 谷口・山下・山口（定）

<議事・報告>

- ・ 負担金規則（規則第5号）の取り扱いについて
- ・ 2022年度事業計画（案）について
- ・ 新入会・転入者について

第7回理事会

開催日 2022年3月13日 ZOOMによるWeb会議

出席者 渋沢・山口（利）・宮本・古澤・樽林・及川・堀江・秦野・谷口・前田・長嶋・四ノ宮
宮下・安藤・服部・若林・山田・葛田・山下・片山・山口（定）・市原・岡本・常陸谷
吉野(選挙管理委員会)

<議事・報告>

- ・ 2021年度補正予算（案）について
- ・ 2022年度予算（案）について
- ・ 2022年度事業計画（案）について
- ・ 理事の推薦について
- ・ 退会者の承認について
- ・ 刑事司法ソーシャルワーカー料金表について

2.（公社）日本社会福祉士会への活動参加

- 第33回通常総会
出席者：渋沢 茂会長
- ぱあとなあ活動報告書 IT化説明会（ZOOM開催）
出席者：四ノ宮 明氏、古澤 肇氏、吉田 愛子氏、太田 和美氏
- 社会福祉士の倫理綱領・行動規範伝達のための試行研修
出席者：堀江 亜希子氏、田尻 真人氏
- 調査委員推薦
出席者：四ノ宮 章氏
- 臨時総会及び会長会議
出席者：渋沢 茂会長、樽林 元樹氏
- 第2回全国生涯研修委員会議
出席者：宮本 哲男氏
- SSW実践アドバイザー養成研修及びSSW担当者意見交換会第1回地域ネットワーク会議
出席者：神山 裕也氏、能田 ゆかり氏
- 2021年度地域共生社会の実現にむけたソーシャルワーク実践力養成研修
出席者：市原 久夫氏、秦野 隆治氏、宮下 朱実氏、長嶋 祐一氏
- 関東甲信越ブロック県士会災害支援連携会議（ZOOM開催）
出席者：服部 明氏
- 関東甲信越ブロック連絡協議会（埼玉県士会）
出席者：古澤 肇氏、樽林 元樹氏、及川 哲氏
- 2021年度事務局代表者会議
出席者：樽林 元樹氏、事務局員
- 実習指導者講習会講師養成研修
出席者：神山 裕也氏、白井 正和氏、田尻 真人氏、佐藤 滋洋氏
- 2021年度基礎研修講師養成研修
出席者：小野寺 浩氏、田尻 真人氏、竹村 葉子氏、矢戸 孝紀氏

- 都道府県社会福祉士災害担当者会議
出席者：服部 明氏
- 関東甲信越ブロックばあとなあ連絡会議
出席者：四ノ宮 章氏、吉田 愛子氏、古澤 肇氏

3. 本会が推薦した各種委員等

【外部委員（推薦）】

- 市川市 障害者支援課、介護福祉課 市川市審判請求対象者検討会委員
推薦：吉田 愛子氏、今川 純子氏
- 千葉県社会福祉協議会 千葉県後見支援センター
千葉県後見支援センター契約締結審査会委員
推薦：櫻井 絢子氏
- 柏市社会福祉協議会 かしわ福祉権利擁護センター かしわ福祉権利擁護センター運営委員
推薦：泉 幸江氏
- 習志野市社会福祉協議会 習志野市社会福祉協議会評議会委員
推薦：大野 良一氏
- 印西市 高齢者福祉課 印西市成年後見制度利用促進に係る受任調整会議助言者
推薦：小川 晴雄氏
- 千葉市 地域包括ケア推進課 成年後見制度利用支援ケース検討会専門職派遣
推薦：小川 晴雄氏
- 千葉県 障害者福祉推進課
「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」に基づく地域相談員
推薦：宮本 哲男氏、朽名 高子氏
- 市川市社会福祉協議会 専門職後見人によるアドバイザー
推薦：今川 純子氏
- 千葉県社会福祉協議会 千葉県新地域支援事業推進協議会会員
推薦：園 康祐氏
- 習志野市社会福祉協議会 福祉サービス調整委員（第三者委員）
推薦：石橋 大輔氏
- 千葉県介護支援専門員協議会
推薦：理事 五十嵐 伸光氏、渡辺 哲也氏、林 房吉氏
代議員 田村 信之氏、井田 英宏氏 予備代議員 吉田 愛子氏、長嶋 祐一氏
- 柏市 地域包括支援課 柏市地域包括支援センター運営協議会委員
推薦：井部 泰子氏
- 柏市健康福祉審議会高齢者健康福祉専門分科会委員(2年任期の内の後期)
推薦：井部 泰子氏
- 松戸市地域包括ケア推進課 松戸市地域ケア会議委員
推薦：宮間 恵美子氏
- 浦安市社会福祉協議会 浦安市社会福祉協議会理事
推薦：市川 恵子氏

- 柏市 地域包括支援課 柏市権利擁護ネットワーク会議
（全体会委員、高齢者に関する専門部会委員、成年後見制度に関する専門部会委員）
推薦：古澤 肇氏
- 柏市社会福祉協議会 かしわ福祉権利擁護センター 候補者調整会議 出席者
推薦：四ノ宮 章氏
- 千葉県社会福祉協議会 千葉県社会福祉協議会理事
推薦：渋沢 茂会長
- 千葉県教育庁 生徒指導・いじめ対策室
令和3年度いじめ問題対策連絡協議会 代表者および担当者
推薦：渋沢 茂会長、秦野 隆治氏
- 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 令和3年度千葉県地域リハビリテーション協議会員
推薦：前田 久美子氏
- 鎌ヶ谷市高齢者支援課 介護相談専門員(虐待ケース対応のアドバイザー)
推薦：宮間 恵美子氏
- 船橋市地域包括ケア推進課 船橋市権利擁護支援等推進協議会委員
推薦：渋沢 茂会長
- 佐倉市社会福祉協議会 佐倉市成年後見支援センター受任調整会議および運営会議構成員
推薦：高美 修次氏
- 鴨川社会福祉協議会 安房地域権利擁護推進センター運営委員
推薦：井上 光晴氏
- 鴨川社会福祉協議会 成年後見制度利用促進におけるマッチング会議委員
推薦：遠坂 貴志氏
- 成田市 高齢者福祉課 成田市成年後見支援センター検討委員会委員
推薦：高橋 利宏氏
- 我孫子市社会福祉協議会 法人後見運営委員会 運営委員
推薦：片野 無事生氏
- 流山市社会福祉協議会 流山市成年後見推進センター 地域ネットワーク会議運営委員
推薦：古澤 肇氏
- いすみ市社会福祉協議会 法人後見事業運営委員
推薦：塚越 立身氏
- 市原市社会福祉協議会 いちはら成年後見支援センター 成年後見制度利用促進調整会議
推薦：朽名 高子氏
- 松戸市 介護保険運営協議会委員
推薦：宮本 哲男氏

【講師派遣・外部講師依頼】

- 2021年9月2日(木)
千葉県社会福祉協議会 社会福祉士養成課程相談援助実習生へ講義
講師：竹嶋 信洋氏
- 2021年9月21日(火)
栄町健康介護課医療介護連携室 高齢者虐待研修

講師：須田 仁氏

- 2021年9月25日(土)
千葉県弁護士会 「暮らしとこころの相談会」
相談員：渋谷 茂会長、服部 明氏
- 2021年10月12日(火) (7月30日から変更)、20日(水) (8月3日から変更)、29日(金) (8月11日から変更)
千葉県社会福祉協議会 千葉県後見支援センター 成年後見制度利用促進地区別意見交換会
出席者：四ノ宮 章氏、吉田 愛子氏、古澤 肇氏
- 2021年12月2日(木)
佐倉市社会福祉協議会 介護職員初任者研修講師
講師：岡本 崇広氏
- 2021年12月10日(金)
龍ヶ崎市 福祉部社会福祉課 龍ヶ崎市見守りネットワーク情報交換会議
講師：山崎 泰介氏
- 2021年12月11日(土)
埼玉県社会福祉士会 「実践から学ぶ災害支援」
講師：服部 明氏
- 2021年12月14日(火)
千葉県社会福祉協議会 千葉県後見支援センター 東庄町 住民向け成年後見制度講演会
アドバイザー：武藤 州範氏
- 2022年1月15日(土)
木更津市社会福祉協議会 市民後見人養成講座
講師：遠坂 貴志氏
- 2022年1月21日(金)
流山市役所 高齢者支援課 令和3年度流山市高齢者虐待防止研修会
講師：宮間 恵美子氏
- 2022年2月17日(木)
我孫子市社会福祉協議会 市民後見人養成講座 フォローアップ講座
講師：古澤 肇氏
コロナのため中止
- 2022年2月27日(日)
千葉県社会福祉協議会 千葉県弁護士会 リーガルサポート千葉 千葉県社会福祉士会主催
楽しく学べる！はじめての成年後見講座
パネリスト：古澤 肇氏 当日運営協力 吉田 愛子氏

4. 後援・協賛

- 2021年5月15日(土) 特定非営利活動法人リンク
「専門職に引き際ってある？～私の活動は終わらない！さあ、ネクストステージへ!!」後援
- 2021年9月1日(水)～10月31日(日)(オンデマンド配信) 特定非営利活動法人リンク
「保健福祉の現場を守る！～職場のコミュニケーションとメンタルケア～後援」後援

- 2021年11月7日(日)→Web開催へ変更 千葉県歯科医師会
令和3年度「いい歯の日」ちば県民いい歯とお口の健康ウイーク
「いい歯のイベント2021」後援
- 2022年2月13日(日) 千葉県介護福祉士会
「訪問介護フォーラム2021」後援
- 2022年3月6日(日)～13日(日) 一般社団法人千葉県作業療法士会
「第23回千葉県作業療法士学会」後援

5. その他の活動

他団体への会議等参加協力

【千葉県への協力】

- 2021年7月27日(火)⇒書面開催へ変更
千葉県教育庁生徒指導・いじめ対策室 令和3年度第1回いじめ問題対策連絡協議会
- 2021年8月3日(火)
千葉県教育庁児童生徒課 SSWについて面談
出席者：渋沢 茂会長、秦野 隆治氏
- 2021年9月13日(月) 千葉県健康福祉部健康福祉指導課
令和3年度千葉県災害福祉支援チーム(DWAT)先遣チーム員養成研修
出席者：服部 明氏
- 2021年10月20日(水)、2022年3月22日(火)
千葉県健康づくり支援課 令和3年度地域リハビリテーション協議会
出席者：前田 久美子氏
- 2021年11月6日(土)→開催中止
千葉県防災危機管理部 第42回九都市県合同防災訓練
出席者：服部 明氏、山口 利史氏
- 2022年3月15日(火)
千葉県健康福祉部 障害福祉課 令和3年度千葉県高次脳機能障害ネットワーク連絡協議会
出席者：渋沢 茂会長

【千葉県社会福祉協議会への協力】

- 2021年6月8日(火)
令和3年度第1回理事会 →書面開催へ変更
- 2021年7月1日(木)、10月28日(木)、2022年3月8日(火)
令和3年度千葉県災害ボランティアセンター連絡会定例会議
出席者：山口 利史氏
- 書面開催
令和3年度第2回理事会
- 2021年7月14日(水)、11月6日(土)
千葉県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター
第42回九都市県合同防災訓練 第3、4回部門別会議

出席者：安藤 宏之氏

- 2021年7月20日（火）
千葉県新地域支援事業推進協議会総会-ZOOM開催
出席者：園 康祐氏
- 2022年3月24日（木）
第5回理事会（オンライン出席）
出席者：渋沢 茂氏

【市町村及び他団体への協力】

- 2021年5月7日（金）、2022年2月10日（木）
佐倉市社会福祉協議会 成年後見支援センター 受任調整会議
出席者：高美 修次氏
- 2021年5月14日（金）、6月30日（水）、8月23日（月）、10月6日（水）、12月14日（火）、
2022年1月25日（火）、3月14日（月）→書面開催へ変更
市川市介護福祉課、障がい者支援課 市川市審判請求対象者検討会
出席者：今川 純子氏、吉田 愛子氏
- 2021年5月6日（木）⇒書面開催へ変更
社会を明るくする運動千葉県推進委員会
出席者：渋沢 茂会長
- 2021年5月28日（金）
松戸市社会福祉協議会 成年後見制度利用促進協議会
出席者：小川 晴雄氏
- 2021年5月30日（日）
千葉県ホームヘルパー協議会 令和3年度ホームヘルパー協議会総会
- 2021年6月1日（火）
千葉県介護保険関係団体協議会
千葉県介護保険関係団体協議会総会及び第1回幹事会 オンライン（ZOOM開催）
出席者：谷口 さなえ氏
- 2021年7月28日（水）、2022年2月10日（木）
佐倉市社会福祉協議会 佐倉市成年後見支援センター運営および受任調整会議
出席者：高美 修次氏
- 2021年11月24日（水）
流山市社会福祉協議会 流山市成年後見推進センター 第1回地域ネットワーク会議
出席者：古澤 肇氏
- 2022年2月18日（金）
千葉家庭裁判所 家事関係機関との連絡協議会 書面開催へ変更
出席者：四ノ宮 章氏
- 2022年3月1日（火）
千葉県介護保険関係団体協議会 第2回幹事会
出席者：谷口 さなえ氏

6. 各委員会・部会

(1) 総務委員会

①企画部会

ア 地域集会

今年度の地域集会は8地区で延11回194名の参加があった（前年度は6地区で延9回128名）。ウィズコロナの情勢下、一部ハイブリット型があったものの、ほぼオンライン開催となった。開催の困難さをカバーし合うため、オンラインの特性を生かして地区を超えた合同開催の試みが広がったのが画期的であった。我孫子・柏・流山・野田地区は恒例の「福祉道場」を継続し88回を数えた。毎回趣向を凝らした企画力が冴えている。第85回が市原地区との合同開催だった（「協働道場」）。千葉市は中央区・緑区・若葉区・稲毛区・美浜区・花見川区の全区合同で地域集会を行った（緑区は単独でも開催した）。印西市・栄町・酒々井町・富里市・成田市・白井市地区も全3回の連続企画を組み、第1回は単独で、第2回は山武地域と、第3回は佐倉・四街道・八街地区と合同で開催した。拡大地域集会は、会員の声を受けて「生活支援コーディネーター編」を開催し県内各地から参加をいただいた。

変動激しい社会情勢の中にあって福祉ニーズも変化しており千葉県社会福祉士会のあり方も問われている。理事会に提出された「事業と予算のあり方検討委員会報告」には、「地域集会の活性化を含めた根本議論」が明記された。企画部会としても通常2回の世話人会議を4回に増やし世話人と議論を重ねたが、今後会員の声を聞きながらさらに検討を加えていく。

<地域集会開催内容>

- 地区No.① 旭市・香取市・匝瑳市・香取郡(東庄町・神崎町・多古町)・銚子市
2021年度開催実績なし
- 地区No.②③合同 山武郡(芝山町・横芝光)・大網白里市・九十九里町・山武市・東金市・印西市・栄町・酒々井町・富里市・成田市・白井市
世話人：西沢 将行、吉井 稔、赤堀 久里子、久保 隆、高梨子 淳
開催日：2021年10月16日(土) 18:30~20:00 ZOOM使用
参加人数：22名
内容：コロナ禍で活躍する保健・福祉職（リレートーク）1.生活保護・生活困窮分野、2.高齢者福祉施設、3.行政職、4.健康福祉センター（保健所）※印西地域の連続企画の2回目
- 地区No.③ 茂原市・いすみ市・夷隅郡(大多喜町・御宿町)・勝浦市・長生郡(一宮町・白子町・長生村・長南町・長柄町・睦沢町)
2021年度開催実績なし
- 地区No.④ 安房郡(鋸南町)・鴨川市・館山市・南房総市
2021年度開催実績なし
- 地区No.⑤ 木更津市・君津市・袖ヶ浦市・富津市
2021年度開催実績なし

- 地区No.⑥⑫合同 市原市・我孫子市・柏市・流山市・野田市
世話人：床井 祐介、鈴木 将人、山口 利史
開催日：2021年2月12日(金)19:00~20:30 ZOOM 使用
参加人数：24名
内 容：「協同道場～災害時対応と遠隔地との連携～」
※下記「第85回福祉道場」と同じ企画
- 地域No.⑦⑧⑨合同 千葉市（中央区・緑区・若葉区・稲毛区・美浜区・花見川区）ただし習志野市・八千代市のぞく
世話人：堀江 亜希子
開催日：2021年8月10日（火）19:00~20:30 ZOOM 使用
参加人数：7名
内 容：みんなどうしてた？～コロナ禍の近況報告～皆さんで自由に情報共有
しましよ！！
- 地域No.⑦千葉市（緑区）
世話人：鈴木 さやか
開催日：11月19日（金）18:45~20:30 ZOOM 使用
参加人数：11名
内 容：生活自立仕事相談センター緑が開設～生活困窮者への支援、8050問題、
意見交換会
- 地区No.⑩ 船橋市・鎌ヶ谷市
2021年度開催実績なし
- 地区No.⑪ 市川市・浦安市・松戸市
2021年度開催実績なし
- 地区No.⑫ 我孫子市・柏市・流山市・野田市
世話人：鈴木 将人、山口 利史

「第83回福祉道場」

開催日：2021年5月19日（水）19:00~21:00 ZOOM 使用

参加人数：24名

内 容：「職場のメンタルヘルスをどう考えるか」講師：日本産業カウンセラー協会
東関東支部より

「第84回福祉道場」

開催日：2021年7月21日（水）（水）19:00~21:00 ZOOM 使用

参加人数：9名

内 容：「～『宴』～」他の職域の方との交流や、同じ職域の方と話を深めるのも良し。
新しい出会いとネットワークの広がりを楽しんでください。

地区No.⑥市原市と合同「第85回福祉道場」

開催日：2021年9月15日(水)19:00~21:00 ZOOM 使用

参加人数：24名

内 容：「協同道場～災害時対応と遠隔地との連携～」※上記地区⑥市原と同じ企画。

「第86回福祉道場」

開催日：2021年11月17日(水)19:00～21:00 ZOOM使用 会員宅からの中継

参加人数：28名

内 容：「乱取り～あの人に聞いてみたい・渋沢 茂師範編～福祉職人としての哲学を聞く！！」

「第87回福祉道場」

開催日：2022年1月19(水)19:00～21:00 ZOOM使用

参加人数：8名

内 容：「辞典道場 最近気になる言葉、でも前から誰かに聞いてみたかった言葉、どんな言葉でもいいのですが、みんなに聞いてみたい言葉を用意してご参加ください。」

「第88回福祉道場」

開催日：2022年3月16日(水)19:00～21:00 ZOOM使用

参加人数：19名

内 容：「新歓道場・新人さん、いらっしゃ～い！～こんな時代でオンラインだけど、すごいヤツらがここにいる!!～」ジェーシー赤マル福祉の協力で試験会場において事前にチラシ配布

- 地区No.⑬印西市・栄町・酒々井町・富里市・成田市・白井市

世 話 人：赤堀 久里子、久保 隆、高梨子 淳

開催日：2021年9月23日(木・祝)18:30～20:00 ZOOM使用

参加人数：20名

内 容：ZOOMを活用した会員同士の交流会 ※連続企画の1回目

- 地区No.⑬⑭合同 印西市・酒々井町・成田市・白井市 佐倉市・四街道市・八街市

世 話 人：赤堀 久里子、久保 隆、高梨子 淳、古澤 充健

開催日：2022年1月22日(土)10:00-12:00 ZOOM使用

参加人数：22名

内 容：「～コロナウイルス患者が発生した施設の経験から～」※連続企画の3回目

- 千葉県全域対象 拡大地域集会「生活支援コーディネーター編」

世 話 人：樽林 元樹

開催日：2021年11月28日(日)13:30～16:00 ZOOM使用

参加人数：17名

内 容：仲間同士の情報交換

イ 組織強化のための他の職能団体との協働研究

千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会と協議を再開し、政府の子ども家庭庁開設、「子ども家庭福祉ソーシャルワーカー」資格化の動向に対して議論を重ね、ソ

ーシャルワーク 3 団体協働事業として「子ども・若者の支援」の研修を実施した。千葉県弁護士会、千葉県公認心理師協会を加えた 5 団体「福祉と司法の連絡協議会」では、例年どおり「千葉県福祉キャラバン」（県内の巡回講演）、「貧困問題に関する懇談会」、「暮らしとこころの相談会」への参加協力を行った。また貧困、虐待、いじめ、不登校、非行、ヤングケアラーなど深刻な子どもの状況に対してスクールソーシャルワーカーと意見交換を行い、千葉県教育庁から求人者の要望を聞いた。

- 千葉県ソーシャルワーカー三団体連絡協議会シンポジウム「子ども・若者の支援」
開催日：2022年1月30日(日) 13:30～17:00
場所：千葉市生涯学習センター小ホール+ZOOM 使用（ハイブリット形式）
内容：①基調講演『こども・若者のいま…』胡内 敦司 氏（厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課）
②実践報告 宮間 恵美子 氏（千葉県 SSW /千葉県社会福祉士会）木脇 和利 氏（国保旭中央病院 /千葉県医療ソーシャルワーカー協会）桑田 久嗣 氏（松戸市中央基幹相談支援センターCoCo/千葉県精神保健福祉士協会）
③シンポジウム モデレーター 神山 裕也氏
- 千葉県社会福祉協議会主催「福祉のしごとチャンネル（オンラインセミナー）福祉専門職のしごとを深掘り ～社会福祉士・精神保健福祉士編～」 参加協力
開催日：2021年11月20日（土）13:00～16:00
開催方法：ZOOM ウェビナーを用いたオンラインセミナー
内容：①オリエンテーション②パネリスト発表 ③質疑応答 コーディネーター：樽林 元樹氏（浦安市社会福祉協議会）、パネリスト：森田 真央氏（酒々井町社会福祉協議会）、佐藤 裕幸氏（市原市地域包括支援センター市津・ちはら台）、若狭 啓太氏（成田赤十字病院）、志鎌 優希氏（うぐいす会からは～い）
- 千葉県キャラバン in 安房「耐風災害の今と備え！支援者や職能団体への期待」
開催日：2021年11月21日（日）10:00～12:00
開催場所：メロンクリニック（館山）+ ZOOM（ハイブリット形式）
内容：房総半島台風から2年。医療・保健・福祉の連携の振り返りを行い、この先の災害に備える機会にする。地域活動支援センター茶の間トミー、館山市社会福祉協議会からの話題提供。
- 「貧困問題に関する懇談会」 弁護士会館（ZOOM 併用）
開催日：2021年4月9日（金）18:30～20:00
内容：①子ども・若者支援の現状と課題、展望について（安井弁護士）、②市内におけるDV支援の状況と課題について（かとりサポートセンター）、③障害者（児）が公共交通機関を円滑に利用するためのICカードの問題について（当事者家族）。
開催日：2021年7月9日（金）18:30～20:00
内容：①生活保護引下違憲訴訟の現状（黒葛弁護士）、②同性婚訴訟・違憲判決～なぜ同性婚が必要なのか（土居弁護士）、③SNS相談の効能（ひと・くらしサポートネット千葉 桐谷・石井）

開催日：2021年10月22日（金）18:30～20:00

内容：①生活保護廃止取り消し訴訟（及川弁護士）、②公営住宅の保証人条項に関する現状報告（澤田弁護士）、③コロナ過における相談（長生ひなた 渋沢 茂）

開催日：2022年1月28日（金）18:30～20:00ZOOM 外国人の生きる権利を考える

内容：①外国人の生活保護問題（及川弁護士）、②外国人支援の現状と課題（いんば中核支援センターすけっと 白田 東吾氏・奥山 雪江）、③外国人の在留資格や健康保険についてのケース報告（千葉県地域生活定着支援センター岸 恵子氏）

「暮らしとこころの相談会」相談員派遣

開催日：2021年9月25日（土）13:00～16:00

場所：千葉県弁護士会館

派遣相談員：渋沢 茂、服部 明、秦野 隆治

開催日：2022年3月19日（土）13:00～16:00 自殺対策強化月間全国一斉開催

場所：木更津市中央公民館

派遣相談員：服部 明、米沢 章徳

スクールソーシャルワーカー関連

開催日：2021年6月5日（土）19:00～20:00 ZOOM 使用

2021年8月3日（火）18:00～19:30 ZOOM 使用

内容：現役のスクールソーシャルワーカーと意見交換を行った

参加者：三井 正行、川名 栄子、飯野 弥生、神山 裕也、宮間 恵美子、能田 ゆかり、渋沢 茂、山口 利史、秦野 隆治

要望：8月3日（火）10:00 千葉県教育庁教育振興部児童生徒課課長及び児童生徒課生徒指導・いじめ対策室長が事務局に来訪し千葉県のスクールソーシャルワーカーの増員についての求人協力の要望があり、大会としてHP上にて令和4年度の募集情報を掲載した。

研修開催：2021年11月28日（日）日本社会福祉士会主催スクールソーシャルワーク実践アドバイザー養成研修（推薦 神山 裕也、能田ゆかり）

②広報部会

ア 機関紙「点と線」発行 2021年度 年3回発行

新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言発令下、会員の活動状況、感じたことを発信してきた。また、集合による情報交換が難しい中、オンラインを活用した研修や地域集会等を積極的に紹介した。

● 第106号 <<特集>>社会福祉士の倫理綱領・行動規範 改訂

- ・改訂作業の経緯や、新倫理綱領の変更点
- ・合同地域集会テーマ『社会福祉士がとらえるべき人権の視点～倫理綱領に学ぶ～』
- ・社会福祉士のわ ・活躍する社会福祉士
- ・認定社会福祉士認定研修を受けてみました
- ・事務局便り

2021年6月 12頁 2,500部発行

配布 会員数 1,549(発送 1,090 件、メール配信 459 件)、関係団体 957 件

- 第 107 号 <<特集>> ヤングケアラーを支援する
 - ・ 社会福祉士のわ
 - ・ 千葉県社会福祉士会委員会・部会の紹介
 - ・ TOPIX 令和元年台風 15 号被害を振り返って
 - ・ 刑事司法ソーシャルワーカーの依頼を受けて感じたこと
 - ・ 職場で出会う社会福祉士さんたち、あまり元気がありません～だから語らいの場、はじめてみました～
 - ・ 事務局便り

2021 年 10 月 12 頁 2,500 部発行

配布 会員数 1,550(発送 1,082 件、メール配信 468 件)、関係団体数 954 件

- 第 108 号 <<特集>> ソーシャルワーカーを動かした体験
 - ・ 座談会「ソーシャルワーカーを動かした体験」
 - ・ 社会福祉士のわ・拡大地域集会 ～生活支援コーディネーター編～
 - ・ 事業と予算の在り方検討委員会からの報告
 - ・ 事務局便り 2022 年 3 月 12 頁 2,500 部発行

配布 会員数 1,546(発送 1,072 件、メール配信 474 件)、関係団体数 946 件

※ 配布先の関係団体

相談機関窓口や地域包括支援センター、市町村社会福祉協議会、社会福祉士養成校等

イ ホームページの維持・管理

- 研修、求人などの情報提供
 - イベント掲載 59 件、本会主催の研修 17 件
 - 求人情報 93 件

ウ 広報部会の開催

編集会議、編集作業、発送作業（各年 3 回）
※発送作業は障がい者就労支援事業所に委託した。

(2) 総合相談委員会

総合相談委員会では、高齢者虐待対応関連の事業を中心に活動を行った。

今年度も高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業（受託事業）を千葉県から委託を受け開催。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染予防のためオンライン開催とした。オンライン開催となってから参加人数が年々増加している。特に高齢者虐待専門研修では申込者 240 名、接続台数 194 台となっており、市町村職員や地域包括支援センター職員の、関心の高さがうかがえる。市町村からの講師派遣依頼では、会員講師の調整がつかず、依頼に応えられないこともあった。

また、高齢者虐待対応専門職チームへのチーム員派遣についても、対応できる会員が減ってきている。これらの課題を解決するため、令和 3 年度では日本社会福祉士会が主催する虐待対応専門研修へ会員を 3 名推薦している。

今後も市町村からの要請に対応していくためには、講師やチーム員派遣に対応できる会員の育成・

確保について検討していく必要がある。

①高齢者虐待防止事業

ア 高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業（受託事業）

- 管理職、初任者向け

開催日：2021年8月30日(月) PC接続台数 149台

開催方法：オンライン研修

- 現任者向け（市町村・地域包括職員向け）

開催日：2021年12月6日(月) PC接続台数 119台

2021年12月14日(火) PC接続台数 117台

2021年12月21日(火) PC接続台数 120台

開催方法：オンライン研修

- 専門研修（市町村・地域包括職員向け）

開催日：2022年2月17日(木) PC接続台数 194台

開催方法：オンライン研修

イ 高齢者虐待対応専門職チームへの参加（受託事業）

・チームメンバー派遣回数 2回

対応できる会員が減ってきている。日本社会福祉士会が主催する虐待対応専門研修を修了している者でないとチーム員として派遣できないため、研修受講を希望する会員を公募し、3名を虐待対応専門研修に推薦した。推薦した3名は今年度中に研修を修了する予定であったが、新型コロナウイルスの影響で後期研修が令和4年度中の開催となったため、研修終了後にチーム員として派遣要請に対応していく予定。

②相談事業

今年度は参加の機会がなかったため、実施せず。

(3) 研修委員会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点より、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等をオンラインによる開催とした。一方で、一部研修や事業（社会福祉士実習指導者研修、社会福祉士国家試験対策講座等）においては、感染対策の徹底をし、集合型研修の開催を試み、コロナ禍における研修の在り方や研修委員会の運営について模索する一年であった。

① 委員会・部会会議

2021年4月17（土）19：00～21：00 全体会議（ZOOM）

出席者：宮本、長嶋、田尻、石山、小野寺、近藤、佐藤（裕）、助川、竹村、立川、俵、仲野、西村、野口、吹野、古川、古谷、矢戸、堀江（敬称略）

- ・全国生涯研修委員会会議報告
- ・2021年度基礎研修運営について

2021年6月8日(火) 19:00~21:00 リーダー会議 (ZOOM)

出席者:宮本、長嶋、田尻、矢戸、小野寺、佐藤(滋)堀江

・基礎研修初回(Ⅱ、Ⅲ)の振り返り、アンケートについて、研修「この指とまれ」について

2021年10月7日(木) 19:30~21:30 リーダー会議 (ZOOM)

出席者:宮本、長嶋、田尻、矢戸、堀江

・来年度の予算・事業等

2022年1月20日(木)19:00~20:30 全体会議 (ZOOM)

出席者:長嶋、田尻、浅見、石山、小野寺、近藤、佐藤(滋)、佐藤(裕)、助川、鈴木(さ)、竹村、田尻、立川、俵、仲野、西村、野口、古川、古谷、矢戸、堀江

・2022年度の研修委員会活動計画の報告

・コアメンバー会議報告 ※以下に、コアメンバー会議については記載

※2021年11月15日より、毎月コアメンバーで次年度の活動、委員会の組織化について意見交換を実施(長嶋、田尻、浅見、佐藤(滋)、矢戸、堀江)

【2022年度基礎研修Ⅰ～Ⅲ運営について】

・2021年度と同様、オンライン開催とする。(ZOOM、一部、eラーニング無料講座活用)

2021年度より、日本社会福祉士会が、基礎研修をeラーニングで全科目配信。研修の質の担保、振替受講に伴う他の県士会等の動向を確認していく必要があることから、日本社会福祉士会の方針等踏まえ、検討を継続。(研修費についても、検討継続)。

【研修委員会自主企画について】

・新人社会福祉士(資格取得予定者含む)対象の「この指とまれ」の運営方法について意見交換を行う。

【委員会の組織化について】

- ・委員会活動の可視化及び役割分担について(業務集中の解消、効率的な運営、事務局との連携)
- ・研修運営におけるコスト削減について検討
- ・受託事業の運営について(社会福祉士国家試験対策講座等)

② 研究大会 県民公開講演

中止とした

③ 基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等

2021年4月18日(日) ZOOMプレ研修 13:00~16:00 (ZOOM)

出席者:田尻、矢戸、堀江、長嶋、竹村、石山、宮下、古谷、小野寺、古川

内容:ZOOMにて、模擬講義を実施(長嶋、小野寺、宮下)。受講生役に扮した委員より感想、改善点など確認。

●基礎研修Ⅰ(一部eラーニング受講及びZOOMにて実施)

第1回:2021年9月11日(土)9:30~17:00

講師：榎林事務局長、各委員会委員長、堀江 亜希子 受講者 63 名

第 2 回：2022 年 2 月 6 日（日）基礎研修 I 第 2 回

講師：堀江 亜希子、田尻 真人 受講者 53 名

●基礎研修Ⅱ（ZOOMにて実施）

第 1 回：2021 年 5 月 23 日（日）9:30～17:00	講師：浅見雅人	受講者 35 名
第 2 回：2021 年 6 月 13 日（日）9:30～17:00	講師：小野寺浩	受講者 37 名
第 3 回：2021 年 7 月 18 日（日）9:30～17:00	講師：小野寺浩	受講者 34 名
第 4 回：2021 年 8 月 22 日（日）9:30～17:00	講師：矢戸孝紀	受講者 35 名
第 5 回：2021 年 9 月 26 日（日）9:30～17:00	講師：矢戸孝紀	受講者 31 名
第 6 回：2021 年 10 月 10 日（日）9:30～17:00	講師：浅見雅人	受講者 31 名
第 7 回：2021 年 11 月 14 日（日）9:30～17:00	講師：石山明子	受講者 34 名
第 8 回：2021 年 12 月 5 日（日）9:30～17:00	講師：竹村葉子	受講者 34 名
第 9 回：2022 年 1 月 16 日（日）9:30～17:00	講師：石山明子	受講者 32 名
第 10 回：2022 年 2 月 20 日（日）9:30～17:00	講師：石山明子	受講者 34 名

●基礎研修Ⅲ（ZOOMにて実施）

第 1 回：2021 年 5 月 22 日（土）9:30～17:00	講師：宮下朱美	受講者 43 名
第 2 回：2021 年 6 月 12 日（土）9:30～17:00	講師：宮下朱美	受講者 43 名
第 3 回：2021 年 7 月 17 日（土）9:30～17:00	講師：宮下朱美	受講者 43 名
第 4 回：2021 年 8 月 21 日（土）9:30～17:00	講師：竹村葉子	受講者 42 名
第 5 回：2021 年 9 月 25 日（土）9:30～17:00	講師：長嶋祐一	受講者 41 名
第 6 回：2021 年 10 月 9 日（土）9:30～17:00	講師：長嶋祐一	受講者 41 名
第 7 回：2021 年 11 月 13 日（土）9:30～17:00	講師：立川大輔	受講者 40 名
第 8 回：2021 年 11 月 27 日（土）9:30～17:00	講師：立川大輔	受講者 40 名
第 9 回：2021 年 12 月 11 日（土）9:30～17:00	講師：立川大輔	受講者 41 名
第 10 回：2022 年 1 月 15 日（土）9:30～17:00	講師：浅見雅人	受講者 43 名
第 11 回：2022 年 2 月 12 日（土）9:30～17:00	講師：石山明子	受講者 43 名

※基礎Ⅰ～Ⅲ いずれも、第 1 回開講前に接続テストを行い、受講生の受講環境の確認等を実施

●研修「この指と～まれ」（ZOOM）

2021 年 10 月 17 日（日）9:30～17:00

登壇者（岡本崇広氏、赤田祐基氏、石山明子氏、竹嶋信洋氏、吹野達也氏） 受講者 23 名
社会福祉士の資格取得間もない方や社会福祉士の資格に興味のある方を対象に社会福祉士が活躍する現場の紹介、現役社会福祉士との交流

●社会福祉士実習指導者養成研修 ※感染症対策に基づき集合研修を実施

日 時：2021 年 11 月 20 日（土）、21 日（日）

開催場所：千葉県経営者会館

講 師：丸 昌、浅見雅人

受講者（修了者）：30名

④ 社会福祉士国家試験受験対策

【国家試験受験対策会議】

●2021年6月6日（日）10：00～12：00（事務局会議室）

出席者：相澤、浅見、岡本、宮本、堀江

・JC事業について

・和洋女子大学社会福祉士受験対策講座受託について

上記事業について、講師の選定・日程調整等を実施

【和洋女子大学社会福祉士受験対策講座受託 講師派遣】

・2021年5月12日（水）13:00～14：00 2021年度の事業について打ち合わせ(和洋女子大学)

出席者：高木准教授・吉岡氏、宮本

・2021年9月11日（土）17：30～ 講師打ち合わせ（ZOOM）

内容：大学側からの依頼内容の確認、質疑応答

●和洋女子大学での教室とオンラインによる授業（全19科目）

2021年10月12日（火）～2022年1月11日（火）

講師名（担当科目）

相澤 雅則（保健医療サービス、人体の構造及び疾病）

西澤 将行（障害者に対する支援と障害者自立支援制度、就労支援サービス）

安藤 宏之（低所得者に対する支援と生活保護制度）

堀江 亜希子（心理学理論と心理的支援）

岡本 崇広（児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、相談援助の理論と方法ⅠⅡ、
社会理論と社会システム）

立川 大輔（現代社会と福祉、福祉サービスの組織と経営）

岡田 英明（権利擁護と成年後見制度、地域福祉の理論と方法）

竹村 葉子（高齢者に対する支援と介護保険制度）

石山 明子（更生保護制度、相談援助の基盤と専門職）

浅見 雅人（社会調査の基礎、社会保障）

高田 俊彦（福祉行財政と福祉計画）

【JC教育研究所Web模試問題作成】

●2021年度 JC 国家試験受験対策

・2021年8月 模擬試験問題 19科目・150問納品

・2022年2月 国家試験解答分析（速報コメント作成）

・2022年3月 国家試験解答解説 19科目・150問納品

※担当講師科目担当は和洋女子大に記載と同じ

⑤ 養成・教育機関との連携事業

●淑徳大学への講師派遣

・科目名：卒後教育と人間開発Ⅰ（前期/後期）

・開催場所：淑徳大学

・連携団体：千葉県精神保健福祉士協会、千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県弁護士会
社会福祉委員会

1) 概要

社会福祉実践教育（専門）の「総仕上げ」として位置づけ、現場実習を終え、就職活動と社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験を控えた学生を対象とし、就職先で求められる即戦力（柔軟な思考力や行動力）を養うことを目的とされた授業に、講師として本会より会員を派遣。各福祉職専門団体、実践現場、マスコミや千葉県弁護士会社会福祉委員会有志弁護士等と講義及び演習を実施。

2) 授業内容及び形態

前期は担当教員の作成した教材により実施。後期は、ZOOM等を使用し、演習を取り入れ、アクティブラーニングの手法を用いた授業を実施。

テーマ：

前期：「ソーシャルワークの実際」を各方面から理解、体験する。

事例を用いて、現場のソーシャルワーク実践や関連する領域について概説。

後期：「実践とソーシャルワーカー」について考える。

講義や事例検討を通してソーシャルワーカーとしての立脚点等を学ぶ。

3) 到達目標

ジェネラリストソーシャルワーカーとしての視点、知識、技術、姿勢の醸成。ソーシャルワーク実践力、支援のネットワークづくり形成力、コーディネート力等基礎の醸成。

4) 講師

渋沢茂氏、宮間恵美子氏、田尻隆氏、鈴木将人氏、松本拓馬氏、平野香氏、神山裕也氏他

⑥ 日本社会福祉士会主催委員会及び各種研修への委員派遣について

●2021年度 第1回 全国生涯研修委員会会議（ZOOM）

【午前の部】

日時：2021年4月1日（日）10：00～12：30

テーマ：オンライン研修の先行事例発表、オンライン研修の課題

出席者：長嶋、田尻、堀江

【午後の部】

日時：2021年4月1日（日）13：00～16：00

テーマ：ICTを活用した研修方法について～リモート研修の今後の展開や講義・演習等の注意点・

具体的な方法等～

出席者：宮本、田尻、石山、佐藤（滋）、立川、宮下

●2021年度 第2回 全国生涯研修委員会会議（ZOOM）

日 時：2021年10月17日（日）13:00～17:00

出席者：宮本

テーマ：生涯研修の見直し、オンライン研修の先行事例

●2021年度基礎研修講師養成研修

日 時：2022年2月11日、12日開催（ZOOM）

日本社会福祉士会主催 令和3年度基礎研修講師養成研修 4名推薦

推薦者：小野寺、竹村、田尻、矢戸

●社会福祉士実習指導者養成講師研修

日 時：2022年1月29日、30日開催

日本社会福祉士会主催 社会福祉士実習指導者養成講師研修 2名推薦

推薦者：神山、佐藤（滋）、白井、田尻

●新スーパーバイザー養成研修

日本社会福祉士会主催 新スーパーバイザー養成研修 2名推薦

推薦者：明井 巡氏、大森 匠氏

⑦ スーパービジョンの支援

スーパービジョンについては、各県士会でスーパーバイザーを把握し、スーパービジョン希望者とのマッチング、スーパーバイザーの養成が求められているが、当会は整備が進んでいない状況があり、スーパービジョンが行える環境整備についても、引き続きの検討及び体制構築が必要である。

（4）権利擁護センターぱあとなあ千葉運営委員会

2021年度もコロナ過の影響で研修事業等に大きな制約を受けたが、WEB会議・研修ツールやクラウドシステム等の活用により以下の諸事業を行なった。

家庭裁判所等からの後見人等の推薦依頼に対し、登録員の受任調整事業を行なった。後見人等の推薦依頼件数は518件（前年度416件）と大きく増加し、登録員の後見人等の受任中の総件数は約1800件（前年度約1600件）となった（2022年1月末時点）。

社会福祉士として適切な後見活動ができるよう、登録員の知識・技能及び倫理意識の維持・向上に向けた研修、相談支援事業等を行なうとともに、登録員に対するぱあとなあ千葉独自の報酬助成制度の運用を開始した。

また、一般の方に対する成年後見制度利用に関する相談事業も継続して実施した。

① ぱあとなあ千葉運営委員会

○第1回運営委員会

開催日：2021年4月27日(土) 17:00~19:15【ZOOM開催】

出席者：浅見、石橋、今川、越後谷、太田、岡元、小川、朽名、倉下、佐野、四ノ宮、古澤、武藤、吉田 【書記】今川

内 容：・2020年度事業報告の確認

- ・報酬助成審査会担当者（仮）の承認
- ・今年度各研修の実施予定、実施方法の確認
- ・登録員の研修受講要件、救済措置の確認
- ・報酬助成制度の運用スケジュール（受任会費納付時期、申請受付時期等）の確認
- ・理事会提案事項（運営委員の追加選任）の承認
- ・ぱあ後なあ千葉ニュース（4月号）発行の確認

○第2回運営委員会

開催日：2021年6月10日(木) 16:30~18:30【ZOOM開催】

出席者：浅見、石橋、今川、越後谷、小川、太田、朽名、倉下、佐野、四ノ宮、古澤、武藤、吉田【書記】石橋

内 容：・人事・役割分担（コーディネーター部会部会長・担当者交替）の承認

- ・受任会費納付時期、助成申請受付開始案内の確認
- ・登録員の相談支援体制の拡充策（継続協議）
- ・ぱあとなあ千葉ニュース（7月号）発行の確認

○第3回運営委員会

開催日：2021年7月29日(土) 16:30~18:30【ZOOM開催】

出席者：浅見、石橋、今川、越後谷、岡元、小川、朽名、倉下、佐野、四ノ宮、長尾、古澤、武藤、吉田 【書記】小川

内 容：・コーディネーター新体制（5地区10名体制）の承認

- ・コーディネーターの後見人等の受任ルール（継続協議）
- ・今年度名簿登録研修修了者の研修受講要件の検討（継続協議）
- ・電話相談の拡充体制（継続協議）

○第4回運営委員会

開催日：2021年8月26日(木) 16:00~18:00【ZOOM開催】

出席者：石橋、今川、越後谷、太田、岡元、小川、朽名、倉下、四ノ宮、長尾、古澤、武藤、吉田 【書記】吉田

内 容：・報酬助成審査会の部会長・部員の選任（委員長一任）の承認

- ・今年度名簿登録研修修了者の研修受講要件の確認
- ・組織規程第9条組織図（ぱあとなあ千葉部分）、理事会への改正提案の承認
- ・コーディネーターの後見人等の受任ルール（継続協議）
- ・電話相談の拡充体制（継続協議）

○第5回運営委員会

開催日：2021年10月28日(木) 16:00～18:45【ZOOM開催】

出席者：浅見、石橋、今川、越後谷、太田、小川、朽名、佐野、四ノ宮、長尾、古澤、武藤、吉田 【書記】四ノ宮

内 容：・2021年度事業計画・予算(案)の承認
・報酬助成申請案件の助成可否(1件可、5件保留)の承認
・報酬助成規程、理事会へ改正提案(自治体報酬助成却下等内書入手出来ない場合、それに準ずる資料の提出でも可とする)の承認
・コーディネーターの後見人等受任ルールの承認
・今後のぱあとなあ千葉の事業運営の財源確保対策(継続協議)

○第6回運営委員会

開催日：2022年1月13日(水) 16:00～18:15【ZOOM開催】

出席者：今川、越後谷、太田、小川、朽名、倉下、佐野、四ノ宮、長尾、古澤、武藤、吉田 【書記】長尾

内 容：・報酬助成申請案件の助成可否(10件可、1件否)の承認
・報酬助成額の上限設定(継続審議)
・研修の実施予定、実施方法について
・ぱあとなあ運営事務経費増大に対する当面の財源確保方策に関する委員長提案(「受任会費」の用途拡大、「受任会費」納付の上限撤廃)及び意見交換

○第7回運営委員会

開催日：2021年3月3日(木) 16:00～18:10【ZOOM開催】

出席者：石橋、今川、越後谷、太田、小川、岡元、朽名、倉下、佐野、四ノ宮、長尾、古澤、武藤、吉田 【書記】岡元

内 容：・来年度の後見人等推薦のための研修受講要件について(必須登録員研修年1回、千葉サポート研修年2回以上に決定)
・電話相談等に関する事前申込フォーム(県社士会WEBサイト掲載)の承認
・ぱあとなあ千葉の当面の財源確保方策に関する委員長提案(「受任会費」の用途拡大、「受任会費」納付の上限撤廃)に関する意見交換(継続協議)

② 研修部会

必須登録員研修

第1回 2021年8月28日(土) ZOOM開催 参加者 122名

「後見業務を行なう上での法的視点からの留意点」

講師：弁護士 小川 款 氏

第2回 2021年12月4日(土) ZOOM開催 参加者 149名

「成年事務における意思決定支援について」

講師：弁護士 水島 俊彦 氏

レベルアップ研修

開催中止

千葉サポート研修

第1回 2021年6月19日(土) ZOOM開催 参加者41名

「家庭裁判所への報告について(受任後の初回報告・1年目の定期報告)」

講師:ばあとなあ千葉 石橋 大輔 氏

第2回 2021年7月31日(土) ZOOM開催 参加者64名

「後見における死後事務とは? ~その理論と実務~」

講師:司法書士 岩佐 博行 氏

第3回 2021年9月4日(土) ZOOM開催 参加者53名

「家庭裁判所とのかかわり ~指摘事項や注意喚起の事例を考える~」

講師:ばあとなあ千葉 古澤 肇 氏

第4回 2021年11月6日(土) ZOOM開催 参加者57名

「居住用不動産の処分について」

講師:ばあとなあ千葉 櫻井 勉 氏

第5回 2022年1月29日(土) ZOOM開催 参加者48名

「身上保護について ~支援のあり方、とらえ方を学ぶ~」

講師:ばあとなあ千葉 浅見 雅人 氏

第6回 2022年2月26日(土) ZOOM開催 参加者35名

「①ばあとなあ千葉について ②関係機関との関わり方について」

講師:①ばあとなあ千葉 四ノ宮 章 氏 ②同 古澤 肇 氏

支援者のための成年後見制度活用講座

2021年10月2日(金)、3日(土) 予定 ➡ 開催中止

成年後見人材育成研修(委託集合研修)

開催中止(2020年度基礎研修Ⅲ中止のため)

名簿登録研修

2021年7月10日(土)開催(2020年度分延期) 参加者 35名

講師:ばあとなあ千葉運営委員会

弁護士との事例検討会

開催中止

③ コーディネート部会

○今年度のコーディネート状況

1) 後見人等の推薦依頼件数 518件(R4.3.31) / 類型: 後見 348件・保佐 123件・補助 46件・未成年後見1件

2) 裁判所支部別

市川	松戸	本庁	佐倉	木更津	一宮	八日市場	館山	佐原	その他
129	134	121	53	26	18	6	10	18	3

○今年度の取り組み

- 1) 2020年度途中から、コーディネート件数の大幅な増加への対応として担当者を増員し、地区別担当制（本庁2名、松戸2名、市川2名、県北2名、県南2名）としたが、今年度もこの体制を継続した。
- 2) 担当者（コーディネーター）の後見人等の推薦ルールを以下の通りとした。
「コーディネーターは、担当地区（家裁支部・出張所）割り体制を前提として、自身が担当する地区以外では、他の登録員と同じ条件で、推薦候補者となることができる」
- 3) 登録員の電話相談機会の拡充策として、メールでの相談申込方式の試行を開始した。

○受任要請件数 518件（前年度416件）家裁推薦案件427件・自薦案件91件

受任件数 498件（前年度403件）

※受任要請件数には、市長村からの要請件数（32件）を含まない。

※要請件数より受任件数が少ないのは、推薦中に本人死亡（2件）・辞退（18件）があったため。

成年後見の受任状況（2022年1月末現在）

登録員数 314人（前年度302人）

活動している登録員 262人（前年度239人）

今年度受任総数 1,772件（前年度1,574件）

法定後見受任 1,747件（前年度1,546件）

内訳（後見1,223件 保佐435件 補助89件 未成年5件）

任意後見受任 23件（前年度24件）

後見監督人受任 2件（前年度4件）

内訳（後見監督人0件 保佐監督人2件 任意後見監督人0件）

※未成年後見 5件（前年度6件 受任総数外）

※法人後見受任 1件（前年度1件）

④ 業務管理部会

登録員から提出された活動報告書の読込み・精査及び個別面談などを通じ、登録員への助言・指導、ぱあとなあ名簿に関する及び法人後見の実施に関する業務等を実施した。

○受任者面談の実施

開催日：10月から1月（コロナ禍による活動報告書読込作業の遅れ等のため実施遅れる）

対象者：24名の面談実施となる。

課題を抱えている登録員、家裁等からクレームがあった登録員を対象に行った。課題が解決済のため面談から外れた登録員もあった。

実施場所：千葉県社会福祉士会事務局会議室他での面談（一部オンライン）を行った。

○受任者面談の結果

・後見活動で抱えている課題に関し、可能な範囲での助言を行なった。

- ・家庭裁判所への報告、相談の在り方等についての指導・助言を行なった。
- ・経験の浅い登録員に対する相談支援体制の充実化の必要性が確認された。
- ・多数案件を受任する登録員のリスクマネジメント等の検討の必要性が確認された。

○活動報告書等の管理・読み作業

活動報告書等の読み作業において、情報漏洩防止や作業効率化に向け、クラウドシステムを活用した。活動報告書の記入漏れや指摘事項について、連絡票を作成し、ぽあとなあ千葉ニュースに同封し、個別に連絡した。

○法人後見の取組み

1案件を受任中である。適正に実施している。しかし、法人後見を担う体制が未整備であるため、2020年度より、新たな案件は受任しないこととしている。

⑤ 報酬助成審査会

千葉県社会福祉士会会員全員を対象としていた「ささえあい制度」に代わり、今年度からぽあとなあ千葉独自の報酬助成制度の運用が開始された。その原資となる今年度分の受任会費（受任件数×2,000円）が後見人等を受任中の登録員から納付され、その総額は2,340,000円となった。

○報酬助成の実績

2021年9月～2022年3月までの申請件数は14件。報酬助成審査会の審査結果を踏まえて、運営委員会において、10件の受給可、1件の受給不可が承認された。3件の審査は次年度に持ち越しとなり、今年度の助成金総額は、10件で1,460,000円である。

2021年度第1回報酬助成審査結果（審査会2021年10月26日）

NO.	申請日	助成金額	運営委員会承認
1	2021年9月12日	200,000円	2022年1月13日
2	2021年9月30日	150,000円	2021年10月24日
3	2021年10月12日	150,000円	2022年1月13日
4	2021年10月12日	150,000円	2022年1月13日
5	2021年10月12日	123,429円	2022年1月13日
6	2021年10月25日	150,000円	2022年1月13日

2021年度第2回報酬助成審査結果（審査会2022年1月7日）

NO.	申請日	助成金額	運営委員会承認
7	2021年12月8日	150,000円	2022年1月13日
8	2021年12月13日	却下	2022年1月13日
9	2021年12月13日	150,000円	2022年1月13日
10	2021年12月15日	150,000円	2022年1月13日
11	2021年12月21日	72,500円	2022年1月13日
12	2021年10月25日	150,000円	2022年1月13日

- ⑥ リスクマネジメント部会（活動休止中）
- ⑦ 独立型社会福祉士委員会準備部会（活動休止中）
- ⑧ 権利擁護に関する相談事業の推進
 ◇電話・面接相談（火曜・木曜）
 相談件数 161 件（前年度 194 件）
 （内訳：電話相談 161 件・面接相談 0 件・・・コロナ禍のため）
 ◇訪問相談 9 件（前年度 13 件）
- ⑨ ぱあとなあ千葉ニュース（登録員等会報）の発行
 年 4 回発行（4 月・7 月・10 月・1 月）
- ⑩ 法人後見業務監査委員会 ➡ 開催見送り
- ⑪ 全体会
 開催日：2021 年 3 月 12 日 13:30～15:30 ZOOM 開催 参加者 40 名
 内容：2021 年度事業概況、2022 年度事業計画等に関する報告及び意見交換。
- ⑫ 登録会員数（2022 年度）4 月 1 日
 登録員数： 318 名（前年度 299 名）
 新規登録員数： 31 名（前年度 51 名）
 登録抹消数： 12 名（前年度 3 名）
 県外転出： 0 名（前年度 1 名）
 準登録員数： 65 名（前年度 67 名）
- ⑬ 運営委員会構成（部会内氏名：五十音順・敬称略）
 運営委員長：四ノ宮章
 副運営委員長：古澤肇、吉田愛子
 研修部会：部会長 小川晴雄
 部会員（運営委員）越後谷恒春、太田和美、岡元千秋、朽名高子、
 佐野由佳里
 （協力員）篠田仁美、中山雄司、服部明
 コーディネート部会：部会長 朽名高子
 部会員（運営委員）浅見雅人、倉下貞一、長尾景子、吉田愛子
 （協力員）井部泰子、加賀美和子、木岡公、佐藤むつみ、秦野隆治、
 宮下朱美
 業務管理部会：部会長 吉田 愛子
 部会員（運営委員）浅見雅人、小川晴雄、四ノ宮章、古澤肇、武藤州範
 （協力員）片野無事生、櫻井勉、福島節子
 リスクマネジメント部会：活動休止中
 報酬助成審査会：部会長 越後谷恒春

部会員（運営委員）太田和美、佐野由佳里、吉田愛子
独立型社会福祉士部会準備会：活動休止中
未成年後見担当：（運営委員）今川純子、岡元千秋、吉田愛子
会計担当：（運営委員）吉田愛子（協力員）篠田仁美
広報担当：（協力員）福島節子
渉外・ソーシャルアクション担当：（運営委員）今川純子（協力員）遠坂貴志
ICT担当：（運営委員）古澤肇、太田和美

（５） 司法福祉委員会

2021年度は日本社会福祉士会認定機構への研修申請が3年毎の見直しにあたり、刑事司法ソーシャルワーカー実務研修（基礎編・応用編）と変更して新規申請した。この講座は、千葉県弁護士会と千葉県社会福祉士会の共催となっている。この講座を修了するとメーリグリストに登録することができる。千葉県社会福祉士会が弁護士からの依頼を受け、司法福祉委員会のマッチング支援で受任する。（2021年度の依頼件数は10件だった。）受任した司法福祉委員は弁護士と協同し障害者・高齢者の入口支援に関わっている。この事業を充実させるために、学習会を設け研鑽を積んでいる。

① 運営委員会の開催

第1回司法福祉委員会

開催日：2021年5月15日（土）10：00～12：00

開催場所：千葉県社会福祉士会事務所

参加者：14名（宮下、多田、吉田、越後谷、松丸、足立、鉢金、渡邊、宮崎、小川、青沼、白井、木内、岡村）

内容：2021年度のスタートにあたり各担当より計画と意見

学習会：渋沢会長の講義（中核支援センターにおける入口支援・出口支援について）

第2回司法福祉委員会（臨時司法福祉委員会）

開催日：2021年9月4日（土）10：00～12：00

開催場所：千葉県社旗福祉士会事務局

参加者：6名（宮下、多田、大浦、川上、吉田、小川）

内容：認定研修の実施に当たり手順確認

第3回司法福祉委員会

開催日：2021年10月2日（土）10：00～12：00

開催場所：千葉県社会福祉士会事務所

参加者：6名（宮下、多田、吉田、松丸、渡邊、小川）

内容：日本社会福祉士会認定研修の開催手順等について
学習会担当、マッチング担当より報告

② 研修

日本社会福祉士会認定研修開催

開催場所：千葉県弁護士会館より ZOOM 研修

基礎編：令和3年11月20日、21日

受講者：20名

応用編：令和4年1月22日、23日

受講者：24名

③ マッチング支援

2021年度の受任件数は10件で、うち1件は自宅に帰った為取り下げとなる。

④ 学習会

第1回学習会：2021年5月15日(講師：渋沢会長)

第2回学習会

開催日：2021年10月23日(土)(14:00~16:00)

開催場所：千葉県定着支援センター

参加者：14名(内委員6名)

内容：刑事司法の支援について～定着支援センターの役割と千葉モデルについて

⑤ その他

沖縄県社会福祉士会より司法福祉委員会の立上に関して協力依頼があり、ZOOMにて協力会議へ参加

参加者：3名(宮下、大浦、吉田)

(6) 災害対策委員会

○災害発生時の被災地支援活動

2021年度、当会会員が行った被災地における支援活動はなかった。

○被災地支援活動協力会員について

被災地支援活動協力会員名簿登録者の精査・確認を行った。

2021年5月19日の時点で95名。(メールアドレスのない者3名を除き、92名がメーリングリストに登録済み。)

千葉県社会福祉士会の年度末会員データを確認したところ、2名の者が退会していた。安藤宏之災害対策委員長が、『被災地支援活動協力会員は、当然に社会福祉士会の会員である必要があるものとする。』との意見を提示し、服部明副委員長及び、山口利史理事の同意を確認し、2021年5月21日、退会者2名をメーリングリストから削除した。

○第42回九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練に係る第4回部門別会議

日時：令和3年7月14日(水)午後1時30分～

出席者：安藤宏之災害対策委員長

場所：大網白里アリーナ武道館(大網白里市上貝塚160)

議題：災害ボランティアセンターと他の訓練との連携について

○埼玉県社会福祉士会『災害時ソーシャルワーク委員会研修』にて活動報告

日付：令和3年12月11日(土)

報告者：服部明災害対策副委員長

内容：2019年台風15号などに対する災害支援活動

※ 報告に使用した資料は事務局で保管

○都道府県社会福祉士会 災害担当者会議

日付：令和4年2月27日(日)

出席者：服部明災害対策副委員長

- 内 容 ・「これまでの日本社会福祉士会の取り組み」と災害支援に係る法制度について
- ・ 県士会からの報告
 - ①静岡県社会福祉士会
 - ②広島県社会福祉士会
 - ・ 意見交換
 - ・ 総括

(7) 倫理委員会

2021 年度は苦情申立なし

(8) 社会福祉士ささえあい制度配分委員会

2021 年度は委員会活動なし

(9) 松戸市居住の安定確保支援事業業務委託

2016 年度より松戸市から委託を受けている事業も 5 年目が終わり、常勤の居宅移行支援員 1 名と非常勤の居宅移行支援員 1 名を事業課である松戸市役所生活支援課内に配置し、市内だけでなく市外の無料低額宿泊所等に入所している生活保護受給者等に対しても新型コロナウイルスの感染拡大の状況で、引き続き相談などに難しさがある中、積極的に支援を進めてきた。

業務の内容は、今年度から単身で生活することが困難な生活保護受給者について、サービスの質が確保された施設（日常生活支援住居施設）において、必要な日常生活上の支援を受けて生活できる仕組みを創設したことにより、対象が従来の無料低額宿泊所と日常生活支援住居施設に入所している生活保護者になった。5 年目の今年度は、事業課である生活支援課や市内外の無料低額宿泊所との連携により、15 名が居宅への移行（転居）を完了した（内訳は市内 1 施設 12 名、市外 2 施設 3 名）。

コロナ禍での相談が進みにくいことや就労してもすぐやめてしまったり、逆になかなか就労に結びつかないなどの問題が課題となってきている。2022 年度も引き続き市内外の施設入居者の居宅移行への支援を行っていく。

委託期間：自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日 委託金額：12,511,287 円

2021年度当期一般正味財産増減額（収支計算書）

2021年4月1日～2022年3月31日

（単位：円）

科目	R3予算収入 (補正後)	R3予算支出 (補正後)	R3 決算額収入	R3 決算額支出	収入-支出 (決算)	予算収入- 決算収入	予算支出- 決算支出	備考
大項目 中項目 小項目	(収入)	(支出)	(収入)	(支出)		(収入)	(支出)	
1 会費	26,062,000	8,376,800	26,570,000	8,431,205	18,138,795	△ 508,000	△ 54,405	
1 会費	23,002,000	7,660,000	23,448,000	7,810,000	15,638,000	△ 446,000	△ 150,000	
1 正会員	22,980,000	7,660,000	23,430,000	7,810,000	15,620,000	△ 450,000	△ 150,000	のべ1,562名（2021年3月31日現在 内、新入会84名）ほか
2 準会員	10,000	0	6,000	0	6,000	4,000	0	2000円×3名
3 賛助会員	12,000	0	12,000	0	12,000	0	0	10000円×1社、2000円×1名
4 負担金	0	0	0	0	0	0	0	
5 入会金	0	0	0	0	0	0	0	正会員会費に繰り入れ
2 ばあとなあ登録料	3,060,000	716,800	3,122,000	621,205	2,500,795	△ 62,000	95,595	
1 ばあとなあ名簿登録料	2,990,000	716,800	3,050,000	621,205	2,428,795	△ 60,000	95,595	名簿登録員305名×10000円、299名×2,245他
2 ばあとなあ準会員登録料	70,000	0	72,000	0	72,000	△ 2,000	0	延べ72名×1,000
2 事業費	25,391,394	23,890,842	25,612,711	22,434,778	3,177,933	△ 221,317	1,456,064	
1 総務事業	48,000	1,043,500	48,000	1,007,223	△ 959,223	0	36,277	
1 企画部会運営費	0	22,500	0	20,000	△ 20,000	0	2,500	
2 SW3団体及びその他職能団体との協働事業費	0	0	0	13,079	△ 13,079	0	△ 13,079	
3 福祉職地域交流促進事業費	0	85,000	0	92,068	△ 92,068	0	△ 7,068	地域集会議師料、会場費補助、世話人会
6 広報誌作成費	48,000	860,000	48,000	819,971	△ 771,971	0	40,029	広報誌年3回発行、広報誌同封チラシ収入
8 広報部会運営費	0	68,000	0	53,485	△ 53,485	0	14,515	
9 WEB維持管理費	0	8,000	0	8,620	△ 8,620	0	△ 620	ホームページの維持経費
2 総合相談事業	1,464,000	890,000	1,444,704	512,726	931,978	19,296	377,274	
1 総合相談委員会運営費	0	0	0	75,660	△ 75,660	0	△ 75,660	
2 高齢者虐待防止対策研修会（県事業）	1,364,000	800,000	1,366,750	365,826	1,000,924	△ 2,750	434,174	千葉県委託事業
3 高齢者虐待対応専門職チーム	100,000	90,000	77,954	71,240	6,714	22,046	18,760	
6 千葉県高齢者虐待対応マニュアル改訂事業	0	0	0	0	0	0	0	
7 総合相談業務を担う社会福祉士の集い	0	0	0	0	0	0	0	
3 研修事業	7,821,500	4,640,000	7,865,480	4,319,966	3,545,514	△ 43,980	320,034	
1 研修委員会運営費	0	150,000	0	0	0	0	150,000	
2 県民公開講座（研究大会・総会）	0	0	0	0	0	0	0	
3 基礎研修Ⅰ	649,500	443,200	652,500	513,283	139,217	△ 3,000	△ 70,083	2021年度研修受講者52名
4 基礎研修Ⅱ	1,900,000	859,400	1,913,080	768,238	1,144,842	△ 13,080	91,162	2021年度研修受講者34名
5 基礎研修Ⅲ	2,250,000	1,056,400	2,257,000	1,009,254	1,247,746	△ 7,000	47,146	2021年度研修受講者42名
6 ジェイシー教育研究所web模試 問題作成	1,430,000	1,087,000	1,450,900	1,063,561	387,339	△ 20,900	23,439	
7 社会福祉士取得支援講座（和洋女子大学）	700,000	380,000	700,000	327,232	372,768	0	52,768	
8 実習指導者講習会	400,000	300,000	400,000	288,132	111,868	0	11,868	2021年度受講者29名
10 淑徳大学講師派遣	480,000	350,000	480,000	336,291	143,709	0	13,709	
12 社会福祉士ワンアップ研修（基礎研修終了者）	0	0	0	0	0	0	0	
14 グループワーク研修	0	0	0	0	0	0	0	
16 先輩SWへの学び研修	12,000	14,000	12,000	13,975	△ 1,975	0	25	
4 ばあとなあ千葉運営事業	3,092,000	5,325,500	3,233,000	4,833,124	△ 1,600,124	△ 141,000	492,376	
1 ばあとなあ委員会運営費	0	322,500	0	251,109	△ 251,109	0	71,391	
3 相談事業	0	450,000	0	379,970	△ 379,970	0	70,030	電話相談、訪問相談
4 成年後見制度活用講座	0	10,000	0	10,566	△ 10,566	0	△ 566	2021年度開催中止
5 成年後見人材育成研修（委託研修）	0	60,000	0	39,496	△ 39,496	0	20,504	2021年度開催無し
6 法人後見事業	216,000	216,000	247,000	247,808	△ 808	△ 31,000	△ 31,808	法人後見1件
7 活動報告書読み込み作業	0	700,000	0	740,690	△ 740,690	0	△ 40,690	
9 渉外・ソーシャルアクション	0	76,000	0	1,438	△ 1,438	0	74,562	リーフレット、家裁、他団体、市町村へ
10 受任者面接	0	125,000	0	145,335	△ 145,335	0	△ 20,335	
11 ばあとなあ千葉ニュース	0	210,000	0	216,434	△ 216,434	0	△ 6,434	年4回発行
12 コーディネート会議	0	960,000	0	858,796	△ 858,796	0	101,204	
13 名簿登録研修	170,000	205,000	170,000	204,867	△ 34,867	0	133	2021年度受講者35名
14 必須登録員研修	240,000	140,000	288,000	130,909	157,091	△ 48,000	9,091	2021年度受講者288名
15 千葉サポート	228,000	120,000	298,000	108,935	189,065	△ 70,000	11,065	2021年度受講者延べ298名

科目	R3予算収入 (補正後)	R3予算支出 (補正後)	R3 決算額収入	R3 決算額支出	収入-支出 (決算)	予算収入- 決算収入	予算支出- 決算支出	備考
大項目 中項目 小項目	(収入)	(支出)	(収入)	(支出)		(収入)	(支出)	
16 レベルアップ研修	0	0	0	0	0	0	0	2021年度開催無し
17 家裁事務報告書指導	0	0	0	0	0	0	0	
18 テーマ別弁護士との事例検討会	0	0	0	0	0	0	0	2021年度開催無し
20 関東甲信越ブロック連絡会	0	0	0	0	0	0	0	
21 ばあとなあ千葉全体会	0	31,000	0	0	0	0	31,000	
22 個人情報保護 相談委託業務	0	0	0	0	0	0	0	
24 未成年後見	0	0	0	0	0	0	0	
25 研修部会運営	0	0	0	0	0	0	0	
26 報酬助成事業(受任会費含む)	2,238,000	1,700,000	2,230,000	1,496,771	733,229	8,000	203,229	報酬助成10件
27 支部設立準備事業	0	0	0	0	0	0	0	
5 司法福祉	665,000	416,000	684,633	492,758	191,875	△ 19,633	△ 76,758	
1 司法福祉委員会運営費	0	30,000	1,833	14,833	△ 13,000	△ 1,833	15,167	
2 司法福祉学習会	0	16,000	0	15,553	△ 15,553	0	447	
3 刑事司法SW養成講座(基礎)	330,000	160,000	330,000	258,685	71,315	0	△ 98,685	2021年度受講者20名
4 刑事司法SW養成講座(応用編)	335,000	210,000	352,800	203,687	149,113	△ 17,800	6,313	2021年度受講者24名
5 マッチング支援	0	0	0	0	0	0	0	
6 災害対策	0	20,000	0	9,370	△ 9,370	0	10,630	
1 千葉県社会福祉士会災害対策委員会	0	20,000	0	9,370	△ 9,370	0	10,630	災害対策他団体会議、交通費等
2 災害対策研修	0	0	0	0	0	0	0	
7 その他	12,300,894	11,555,842	12,336,894	11,259,611	1,077,283	△ 36,000	296,231	
1 千葉県社会福祉士会倫理委員会	0	100,000	0	0	0	0	100,000	
2 社会福祉士ささえあい制度配分委員会	0	0	0	0	0	0	0	
3 選挙管理委員会	0	70,000	0	44,580	△ 44,580	0	25,420	
4 法人後見監査業務委員会	0	80,000	0	0	0	0	80,000	
5 居住確保支援事業	12,300,894	11,285,842	12,300,894	11,182,631	1,118,263	0	103,211	
7 社会福祉士会活性化事業	0	0	0	0	0	0	0	
8 講師派遣事業	0	20,000	36,000	32,400	3,600	△ 36,000	△ 12,400	講師派遣
9 ICT推進委員会	0	0	0	0	0	0	0	
3 事務費	0	18,065,000	0	18,806,230	△ 18,806,230	0	△ 741,230	
1 消耗品費	0	300,000	0	209,145	△ 209,145	0	90,855	会員管理用事務消耗品代
2 印刷製本費	0	700,000	0	686,195	△ 686,195	0	13,805	総会資料、封筒、コピー機カウナター
3 通信運搬費	0	1,000,000	0	809,232	△ 809,232	0	190,768	電話使用料、クラウド使用料、切手代郵送料等、
4 慶弔費	0	0	0	0	0	0	0	
5 賃金等	0	10,370,000	0	11,223,279	△ 11,223,279	0	△ 853,279	常勤契約3名、パート1名(通勤費含)
6 法定福利費	0	1,550,000	0	1,812,978	△ 1,812,978	0	△ 262,978	賃金等より(社保・労働保険料)
7 水道光熱費	0	140,000	0	132,000	△ 132,000	0	8,000	
8 賃借料	0	1,750,000	0	1,740,594	△ 1,740,594	0	9,406	事務局資料、コピー機等リース(保守料含む)、PCリース
9 委託料	0	1,100,000	0	1,049,472	△ 1,049,472	0	50,528	税理士、新入会セット(日本会)1,000円×84名
10 役員報酬	0	500,000	0	582,500	△ 582,500	0	△ 82,500	理事会、総会、三役会、外部会議出席
11 役員旅費	0	50,000	0	61,637	△ 61,637	0	△ 11,637	
12 役員選挙事務費	0	330,000	0	227,598	△ 227,598	0	102,402	選挙再公示ハガキ1回、選挙結果報告封書
13 保険料	0	40,000	0	40,000	△ 40,000	0	0	
14 会議費	0	10,000	0	0	0	0	10,000	
15 諸会費	0	25,000	0	10,000	△ 10,000	0	15,000	
16 雑費	0	200,000	0	221,600	△ 221,600	0	△ 21,600	
4 受取補助金等	1,100,000	0	1,185,794	0	1,185,794	△ 85,794	0	
5 寄付金	0	0	0	0	0	0	0	
6 繰越金	0	0	0	0	0	0	0	
7 雑収入	0	0	98,277	0	98,277	△ 98,277	0	
8 租税公課	0	700,000	0	444,000	△ 444,000	0	256,000	
9 敷金支出	0	0	0	0	0	0	0	
10 予備費	0	300,000	0	0	0	0	300,000	固定資産(器具備品)
11 配分金	0	0	0	0	0	0	0	
合計	52,553,394	51,332,642	53,466,782	50,116,213	3,350,569	△ 913,388	1,216,429	
当期一般正味財産増減額		1,220,752		3,350,569			△ 2,129,817	

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	52,715,766	49,428,995	3,286,771
未収入金	3,833,098	3,989,486	△ 156,388
貯蔵品	41,654	53,818	△ 12,164
前払費用	93,774	93,774	0
預け金	136,675	136,400	275
仮払金	0	0	0
流動資産合計	56,820,967	53,702,473	3,118,494
2. 固定資産			
(1) 固定資産			
器具及び備品	160,125	254,100	△ 93,975
敷金	920,700	920,700	0
固定資産合計	1,080,825	1,174,800	△ 93,975
3. 基本財産			
定期預金	2,000,000	2,000,000	0
基本財産合計	2,000,000	2,000,000	0
資産合計	59,901,792	56,877,273	3,024,519
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,566,024	2,056,467	△ 490,443
預り金	502,707	244,339	258,368
仮受金	0	0	0
流動負債合計	2,068,731	2,300,806	△ 232,075
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,068,731	2,300,806	△ 232,075
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産合計	2,000,000	2,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	57,833,061	54,576,467	3,256,594
負債及び正味財産合計	59,901,792	56,877,273	3,024,519

正味財産増減計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①会費収入	25,678,000	22,634,000	3,044,000
②ばあとなあ名簿登録料	3,122,000	3,116,000	6,000
③事業収入	23,382,711	20,598,131	2,784,580
④受取補助金	1,185,794	4,004,617	△ 2,818,823
⑤寄付金	0	0	0
⑥雑収入	98,277	103,959	△ 5,682
経常収益計	53,466,782	50,456,707	3,010,075
(2) 経常費用			
①会費支出	8,431,205	8,232,620	198,585
②事業費	22,434,778	18,721,491	3,713,287
③管理費	18,900,205	19,338,772	△ 438,567
経常費用計	49,766,188	46,292,883	3,473,305
当期経常増減額	3,700,594	4,163,824	△ 463,230
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①法人税等	444,000	635,400	△ 191,400
②配分金	0	430,000	△ 430,000
経常外費用計	444,000	1,065,400	△ 621,400
当期経常外増減額	△ 444,000	△ 1,065,400	621,400
当期一般正味財産増減額	3,256,594	3,098,424	158,170
一般正味財産期首残高	52,576,467	49,478,043	3,098,424
一般正味財産期末残高	55,833,061	52,576,467	3,256,594
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
III 正味財産期末残高	57,833,061	54,576,467	3,256,594

現金預金明細表
令和4年3月31日現在

(単位:円)

取引金融機関	種 類	金 額	備 考
千葉銀行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3056203	13,380,164	
千葉銀行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3067795	9,891,139	居住確保支援事業
ゆうちょ銀行	普通預金 No. 10520-90294141	8,150,219	
ゆうちょ銀行	振替口座 No. 00170-0-713799	10,772,016	
ゆうちょ銀行	振替口座 No. 00170-6-569895	2,866,186	社会福祉士ささえあい制度用
千葉銀行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3073671	774,267	ぱあとなあ受任会費用
千葉銀行 千葉市役所出張所	定期預金 No. 3056190(2)	6,749,928	基本財産を除く
現金		131,847	
合 計		52,715,766	

未収入金明細表
令和4年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金 額	摘 要
千 葉 県	1,384,704	高齢者虐待対応研修委託料ほか
松戸市	1,025,074	居住確保支援事業
JC教育研究所	599,500	国試解答解説ほか
千葉労働局	237,820	雇用調整助成金
ぱあとなあ千葉名簿登録員	586,000	ぱあとなあ2021年度WEB研修受講料 (必須登録員研修、千葉サポート)
合 計	3,833,098	

貯蔵品明細表
令和4年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金 額	摘 要
切手代他	41,654	
合 計	41,654	

前払費用明細表
令和4年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
ファーストコーポレーション株式会社	93,774	賃料他4月分
合計	93,774	

預け金明細表
令和4年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
千葉県	136,675	高齢者虐待対応研修契約保証金
合計	136,675	

敷金明細表
令和4年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
ファーストコーポレーション株式会社	920,700	敷金
合計	920,700	

基本財産明細表
令和4年3月31日現在

(単位:円)

取引金融機関	種類	金額	備考
千葉銀行 千葉市役所出張所	定期預金 No. 3056190(1)	2,000,000	基本財産
合計		2,000,000	

未払金明細表
令和4年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
職員	1,548,557	3月分給与ほか
KDDIほか	17,467	通信費
合計	1,566,024	

預り金明細表
令和4年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
職員・講師他	241,146	源泉所得税
関東甲信越ブロック連絡協議会	261,561	2022年度運用費
合 計	502,707	

雑収入明細表

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
受取利息	487	
事務受託費等	97,790	一般社団法人 千葉県医療ソーシャルワーカー協会 一般社団法人 千葉県精神保健福祉士協会ほか
合 計	98,277	

事業収入明細表

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
千 葉 県	1,384,704	高齢者虐待防止対策研修ほか
淑徳大学 和洋女子大学	1,180,000	社会福祉士取得支援
ジェイシー教育研究所	1,450,900	社会福祉士養成事業
松 戸 市	12,300,894	居住確保支援事業
合 計	16,316,498	

監査報告書

令和4年5月15日

一般社団法人千葉県社会福祉士会
会長 渋谷 茂 様

監事 山口 定之 

監事 市原 久夫 

私ども監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度における監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査のため、帳簿、書類を閲覧し、計算書類について慎重に検討を加え、必要と思われる実査、立会、照合、理事からの報告聴取その他の合理的方法を用いて調査した。監査当日の立会は会長、事務局長、事務局員が行った。
- (2) 会計以外の業務遂行を監査するため、理事会その他の重要会議に出席し、理事からの事業報告を聴取し、決裁書類を閲覧し、その他必要と思われる方法を用いて調査した。

2. 各会計及び財産の確認

- (1) 一般会計の預金の年度末残高は、千葉銀行、ゆうちょ銀行の預金通帳をもってそれぞれ確認した。
- (2) 諸帳簿及び証拠書類は、適正に保管されていることを確認した。

3. 監査意見

- (1) 貸借対照表及び財産目録、収入支出計算書は会計帳簿の記載と合致し法令及び定款ならびに諸規程に従って会の財産及び収支状況を正しく示していると認める。
- (2) 理事の職務遂行に関する不正の行為または法令、定款及び規約に違反する事実は認められない。

議案第 2 号 役員の選任について

役員の任期満了にあたり、以下の候補者名簿のとおり役員を選任することについて、総会の承認を求めます。

No.	役職	候補者氏名	備考
1	理事	樽林 元樹	会員理事：四期目
2	理事	山口 利史	会員理事：四期目
3	理事	四ノ宮 章	会員理事：三期目(理事会推薦)
4	理事	服部 明	会員理事：三期目
5	理事	古澤 肇	会員理事：三期目
6	理事	宮下 朱実	会員理事：三期目
7	理事	及川 哲	会員理事：二期目
8	理事	秦野 隆治	会員理事：二期目
9	理事	白井 正和	会員理事：新任
10	理事	浅見 雅人	会員理事：新任
11	理事	瀧澤 考悦	会員理事：新任
12	理事	松本 友寿	会員理事：新任
13	理事	石橋 大輔	会員理事：新任
14	理事	伊藤 佳代子	会員理事：新任(理事会推薦)
15	理事	高橋 利明	会員理事：新任(理事会推薦)
16	理事	山下 興一郎	会員外理事：四期目(日本ソーシャルワーク教育学校連盟推薦)
17	理事	片山 純	会員外理事：二期目(千葉県精神保健福祉士協会推薦)
18	理事	水野 智行	会員外理事：新任(千葉県医療ソーシャルワーカー協会推薦)
19	理事	吉留 亨	会員外理事：新任(成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部推薦)
20	理事	中村 恒平	会員外理事：新任(千葉県弁護士会推薦)
21	監事	市原 久夫	二期目
22	監事	岡本 武志	新任

<補足説明>

役員の選任決議については、関係法令に適合するため候補者一名ずつ議決する必要があります。
 なお、役員の任期は 2024 年度(R6)の定時総会(6 月総会)終結の時までとなります。

議案第3号

規則第4号報酬等に関する規則の変更について

下記に掲載する、一般社団法人千葉県社会福祉士会報酬等に関する規則について、総会の承認を求めます。

(提案理由)

●役員が、事務局職員マネジメント、決裁権者との調整、事務局職員が行った事務処理の決裁確認のため事務局において事務処理を行う体制づくりのため。

旧(現行)	新(改正案)
<p>一般社団法人千葉県社会福祉士会 報酬等に関する規則 規則第4号 平成24年10月28日制定 最新改正 平成26年3月1日</p> <p>第1条(略) (対象)</p> <p>第2条 この規則の適用の対象となる会務とは、次に掲げる活動をいう。 (1)～(3)(略) (4)その他会長が特に報酬の支払い及び費用弁償することを承認して行う事業等に参加すること。</p> <p>2 (略) (報酬)</p> <p>第3条 前条に定める報酬の額は、4時間まで2,500円、4時間を超え8時間まで5,000円、以後4時間ごとに2,500円の加算を基準とし、源泉徴収後の金額を支払うものとする。</p> <p>2～4 (略)</p> <p>第4条～第10条 (略)</p>	<p>一般社団法人千葉県社会福祉士会 報酬等に関する規則 規則第4号 平成24年10月28日制定 最新改正 令和4年6月26日</p> <p>第1条(略) (対象)</p> <p>第2条 この規則の適用の対象となる会務とは、次に掲げる活動をいう。 (1)～(3)(略) (4)<u>役員が、事務局職員のマネジメント、決裁権者との調整、事務局職員が行った事務処理の決裁確認のため、事務局において事務処理を行うこと。</u> (5)その他会長が特に報酬の支払い及び費用弁償することを承認して行う事業等に参加すること。</p> <p>2 (略) (報酬)</p> <p>第3条 前条<u>の場合に支給する報酬の額は、別表1とし、源泉徴収後の金額を支払うものとする。</u></p> <p>2～4 (略)</p> <p>第4条～第10条 (略)</p>

<p>附 則</p> <p>1 この規程は、本会の設立登記の日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規程は、平成 26 年度に開催する本会定時総会終了の翌日から施行する。</p>	<p>附則1 この規程は、本会の設立登記の日から施行する。</p> <p>附則1 この規程は、平成 26 年度に開催する本会定時総会終了の翌日から施行する。</p> <p>附則1 この規程は、令和 4 年度に開催する本会定時総会終了の翌日から施行する。</p> <p>別表1</p> <table border="1" data-bbox="790 584 1382 1153"> <thead> <tr> <th data-bbox="790 584 1043 629">対象</th> <th data-bbox="1043 584 1382 629">報酬の額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="790 629 1043 969">第 2 条第 1 項第 1 号から第 3 号、及び第 5 号の場合に支給する報酬の額</td> <td data-bbox="1043 629 1382 969">4 時間まで 2,500 円、4 時間を超え 8 時間まで 5,000 円、以後 4 時間ごとに 2,500 円の加算を基準とし、源泉徴収後の金額を支払うものとする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="790 969 1043 1153">第 2 条第 1 項第 4 号の場合に支給する報酬の額</td> <td data-bbox="1043 969 1382 1153">1 時間ごとに <u>1,800 円</u>とし、源泉徴収後の金額を支払うものとする。</td> </tr> </tbody> </table>	対象	報酬の額	第 2 条第 1 項第 1 号から第 3 号、及び第 5 号の場合に支給する報酬の額	4 時間まで 2,500 円、4 時間を超え 8 時間まで 5,000 円、以後 4 時間ごとに 2,500 円の加算を基準とし、源泉徴収後の金額を支払うものとする。	第 2 条第 1 項第 4 号の場合に支給する報酬の額	1 時間ごとに <u>1,800 円</u> とし、源泉徴収後の金額を支払うものとする。
対象	報酬の額						
第 2 条第 1 項第 1 号から第 3 号、及び第 5 号の場合に支給する報酬の額	4 時間まで 2,500 円、4 時間を超え 8 時間まで 5,000 円、以後 4 時間ごとに 2,500 円の加算を基準とし、源泉徴収後の金額を支払うものとする。						
第 2 条第 1 項第 4 号の場合に支給する報酬の額	1 時間ごとに <u>1,800 円</u> とし、源泉徴収後の金額を支払うものとする。						

議案第 4 号

規則第 5 号負担金規則の改廃について

下記提案理由により、一般社団法人千葉県社会福祉士会負担金規則の廃止について、総会の承認を求めます。

(提案理由)

- ささえあい制度の廃止に伴い、負担金規則を改廃する。



一般社団法人 千葉県社会福祉士会

2022 年度事業計画および予算

※2019 年度より、事業計画および予算については、理事会承認となりました。

2021 年度第 7 回理事会（2022 年 3 月 13 日（開催）で承認された、2022 年の事業計画および予算について、報告いたします。

(1) 基本活動方針

地域共生社会の実現に向けて、社会福祉の援助を必要とする方への生活と権利を擁護し、社会福祉に関する知識及び技術の普及・啓発を行うとともに、社会福祉事業に携わる専門職員に対する倫理の確保、技能の研鑽を行うことにより地域福祉サービスの推進と発展を図り、もって千葉県における社会福祉の増進に寄与していきます。

新型コロナウイルスの影響拡大と長期化により、人と会うことが制限され、飲食業等の営業が自粛、経済的に困窮される方が増加しました。福祉の現場でも影響は小さいものではありません。医療機関や生活困窮相談機関等は繁忙を極めています。社会生活が制限されて孤立や巣ごもりが際立っている方もいます。対面での会合が縮小されて、創造的な取り組みが行いにくくなっているようにも思います。

このような中でも私たちの活動を継続させていくために取り組む必要があります。

昨年度、「事業と予算のあり方検討委員会」を立ちあげ、会の事業と予算のあり方について理事会に報告しました。財政基盤の強化と組織率の向上については、今年度より、30歳以下を対象として、入会金及び年会費を入会年度無料として、若年層の入会促進を進めます。また、会に参加しやすい活動や研修を企画するとともに、既存の委員会の活動の役割や機能についても再検討していきます。

千葉県社会福祉士会は発足以来、日常生活や介護のことなど、生活の困りごとが起きたときに「福祉の道案内役」として県民の皆様役に役立ててもらえるよう、活動しています。

権利擁護の支援として、成年後見制度の利用促進に関すること、スクールソーシャルワーカーのこと、子ども、若者分野のこと、会員の活動参加の推奨、WEB等での研修の充実、ICTの活用等、時世に応じた活動、仕組みづくりに取り組みます。

司法や医療、教育等の他分野との協働を継続しながら、会員内外の方の思いやニーズを取り入れた活動を展開し、より魅力的な会になるよう努めます。

(2) 2022年度重点事業内容

- I. 総合相談のあり方を検証し、ソーシャルワークの実践力・指導力を高め、取り組んでいく。
- II. 会のあり方を検証し、中長期的に委員会の再編や事務局のマネジメント機能向上に取り組む。
会員一人ひとりがメリットを感じられる魅力ある会の運営の検討を継続する。
- III. 災害時に必要な支援を整理して日頃の準備・連携・ネットワークを構築する。
- IV. 司法、教育、医療、行政、地域活動等の他分野と協働での活動を進める。
- V. 研修はWEB等を使用し会員の知識及び技術並びに倫理及び資質向上に資するよう活動を進める。
- VI. 権利擁護支援として、成年後見制度の適正な利用について会として関与する。
- VII. 会員相互の更なるつながりと本会の活性化・発展を図る為の情報や機会を積極的に提供する。

(3) 各委員会・部会

(1) 総務委員会
活動方針
<p>【委員会の活動目的】</p> <ul style="list-style-type: none">・会員同士がゼネラルにつながる活動・他の職能団体との協働による組織強化 <p>【これまでの実績と今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・世話人会議での情報交換を活性化することにより、地域集会でのオンラインの活用を進め、コロナ禍で停滞していた地域集会の再開が進んだ。2022年度は全14地区中10地区で延べ26回の開催を予定している。本会の若年層会費免除と連動して新入会員との交流企画も行いたい。今後の課題として、地域集会のあり方について「根本的な議論」を加えていく必要がある。・拡大地域集会は年1回程度行っていきたい。・2021年度では、会報誌「点と線」を年3回発行。特集記事に、倫理綱領・行動規範改訂、ヤングケアラー支援に関する社会福祉士の取り組みを紹介、通年記事で、委員会、地域集会の活動、社会福祉士の業務について情報共有した。広告に関する規程を作成したが、利用につながっていない。・2021年度では、スクールソーシャルワーカーのライングループを作り、情報交換の場を立ち上げ、オンラインでの情報交換会を立ち上げた。2022年度では、千葉県教育庁との連絡を保持しながら会員間のネットワーク化を進め『スクールソーシャルワーカー実践ガイドライン』の周知・浸透を図っていく。・他の職能団体との協働について研修会・懇談会・福祉キャラバン等の事業を継承していくとともに広く一般会員へも参加を促していく。 <p>【次年度重点的に取り組むこと】</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ後に必要とされるソーシャルアクションの会員への共有・オンラインを活用した地域集会の再開、未開催地区のてこ入れ・新入会員との交流
企画部会活動予定
<p>① 企画部会運営（事業予算：22,500円）</p> <ul style="list-style-type: none">・臨時及び定例会議 年間3回・世話人も招き、できれば定例化していきたい。 <p>② 福祉職地域交流促進事業（事業予算：245,000円）</p> <ul style="list-style-type: none">・地域集会 10地区にて延26回・拡大地域集会 1回 <p>③ SW三団体及び他職能団体との協働事業（事業予算：30,000円）</p> <ul style="list-style-type: none">・ソーシャルワーカー三団体協働事業：会議と研修会実施・福祉と司法の千葉県連絡協議会：通年の会議と研修会、交流会実施・スクールソーシャルワーク関連：求人協力、ネットワーク化、研修実施

広報部会活動予定
④ 広報部会運営費（事業予算：74,000円） 広報誌作成にあたる作業に対するスタッフ報酬 1人1回：1000円
⑤ 点と線（会報誌）作成（事業予算：814,000円） ・年3回発行、会員の活動発表の場を包含。 ・印刷部数 2,500部 電子メールでの配信も実施 ・発送先：会員の他 行政、社会福祉施設、県民へ社会福祉士のPR
⑥ ホームページの更新（事業予算：8,000円） ・対象者：県民及び会員 社会福祉士試験の受験資格者等 ・内容：本会活動情報、求人情報、その他社会福祉士に関連する有益な情報の提供

（2）総合相談委員会
活動方針
<p>【活動目的】 市町村や地域包括支援センター職員を対象とした研修開催や、虐待対応専門職チーム員としての会議参加等を通じ、高齢者虐待に関わる関係機関の支援を行う。</p> <p>【これまでの実績と今後の課題】 総合相談委員会では、千葉県からの受託事業として高齢者虐待防止対策研修を開催している。実際の現場に合った研修内容となるよう講師間で話し合い、2019年度にはカリキュラムの大幅変更を行った。2020年度以降、新型コロナウイルスの影響で対面による集合研修の開催が困難となったが、県と協議し、ICTを活用して開催することとなった。ICTを活用したことで、集合開催のときにはなかなか参加することが難しかった遠方の人も参加できるようになり、結果、これまでより参加人数が増加傾向にある。</p> <p>また、県の高齢者虐待対応専門職チームへの派遣要請に対し、所定の研修を修了した会員を派遣し、必要な助言を行っている。チーム員として活動するには日本社会福祉士会が主催する所定の研修を修了している必要があるが、修了した会員が少なく派遣調整するのが大変な状況であった。2021年度は千葉県社会福祉士会として3名を当該研修に推薦し、2022年度以降のチーム員派遣が適切に行えるよう努めている。</p> <p>ほかにも市町村から市町村職員や地域包括支援センター職員向けの高齢者虐待対応研修講師派遣依頼を受け、講師として会員を派遣している。</p> <p>今後の課題として、委員会の名称にあるとおり児童や障害、高齢等の各分野で総合相談業務を担っている社会福祉士を支援できるような活動について、検討していく必要がある。</p> <p>【重点取組項目】 ○高齢者虐待防止対策研修会の開催 ア. 高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業（受託事業） イ. 高齢者虐待対応専門職チームへの参加（受託事業）</p>
虐待対応部会活動予定
① 高齢者虐待防止対策研修（事業予算：360,000円） ・管理職、初任者対象 年間1回

- ・現任職員対象 年間1回(3日間)
 - ・専門研修 年間1回
- ② 高齢者虐待対応専門職チームへの派遣(事業予算:14,000円)
- 千葉県弁護士会と協働して、市町村や地域包括支援センター等からの要請に応じて高齢者虐待対応を行う。

(3) 研修委員会
活動方針
<p>所属する会員が社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを目的とした『日本社会福祉士会生涯研修制度による研修』を企画・運営する。</p> <p>今年度はリモートの研修と感染防止の対策を取り入れての会場集合研修を実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯研修制度の基礎課程「基礎研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を開催する。 ・基礎研修にeラーニングを活用する。 ・基礎研修Ⅱ、Ⅲについて、やむを得ず受講できなかった受講生に配慮し、近隣県で受講が出来るように他県との相互受講が出来るように再度の活動調整を行う。 ・研修啓発部会委員による講師養成、講座のファシリテーション・運営スキルの向上を図る。 ・会場研修については新型コロナウイルス感染対策を徹底する。 ・生涯研修制度・基礎課程修了者を中心に、スーパービジョンのコーディネート支援が求められている。認定社会福祉士となった方などを中心に、スーパーバイザーとなれる人材を確保していく必要性があり、スーパービジョン支援について検討していく。 <p>また、将来に向けて質の高い社会福祉士の育成確保に向け、社会福祉士養成校や民間との連携や実習指導者の養成を実施していく。</p> <p>(1) 実習指導者養成</p> <p>当会の実習指導者講習会は毎年実施している。現在厚生労働省では社会福祉士養成カリキュラムの見直しが見込まれており、これに伴い実習指導についてもプログラムが変更される見込みであるので、2022年度はこれらを考慮して実施する予定。</p> <p>(2) 社会福祉士資格取得支援(国家試験受験対策)事業</p> <p>質の高い社会福祉人材の育成に向け、社会福祉士養成校や民間との連携のもとで在学中および卒業後の学び合いの体制を構築していくことが求められている。特に養成校での国家試験受験対策や民間での受験者支援システムを展開していくことにより、学生や受験生へのソーシャルワークの理解促進などに取り組んでいく。淑徳大学及び和洋女子大学の講座は継続して実施していく。</p>
活動予定
<p>① 研修啓発部会運営(事業予算:226,000円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月例会議 年間6回(オンライン集合6回) <p>② 基礎研修事業(日本社会福祉士会 委託事業)</p> <p>ア 基礎研修Ⅰ(事業予算:445,000円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者: 50名程度

- ③ ・実施時期 2022 年 5 月～2023 年 3 月（年 2 回）
 - イ 基礎研修Ⅱ（事業予算：1,280,000 円）
 - ・対象者： 50 名程度
 - ・実施時期 2022 年 5 月～2023 年 3 月（年 10 回）
 - ウ 基礎研修Ⅲ（事業予算：1,235,000 円）
 - ・対象者： 30 名程度
 - ・実施時期 2022 年 5 月～2023 年 3 月（年 10 回）
- 実習指導者講習会（事業予算：325,000 円）
 - ・対象者：30 名程度
 - ・実施時期 2022 年 11 月中旬
- ④ 社会福祉士資格取得支援(国家試験受験対策) 事業
 - ア 淑徳大学講座（事業予算：285,000 円）
 - ・対象者：淑徳大学 4 年生 年間 19 回予定
- ⑤ ・実施時期 2022 年 5 月～2023 年 1 月
 - イ 和洋女子大学社会福祉士取得支援講座（事業予算：380,000 円）
 - ・年間 19 回予定
 - ・実施時期 2022 年 9 月～12 月
 - ウ ジェイシー教育研究所 WEB 模試問題作成（事業予算：1,127,000）
 - インターネットを利用した受験者支援システムを展開
 - ・実施時期 2022 年 6 月～2023 年 3 月
- 独自研修
 - ア 先輩 SW への学び研修（この指と～まれ）（事業予算：15,000 円）
 - ・対象者： 30 名程度
- ⑥ ・実施時期 2022 年 7 月～2022 年 10 月（1 回）
 - 倫理綱領・行動規範の啓蒙・啓発

⑦

備考 その他の活動

- ・日本社会福祉士会生涯研修委員会議（9～10 月頃・東京）
- ・基礎研修講師養成研修（11～3 月頃・東京）

（4）権利擁護センターぱあとなあ千葉運営委員会

活動方針

ぱあとなあ千葉は、成年後見人等を担う人材の養成を行なうとともに、家庭裁判所・自治体等からの要請に応え、登録員の成年後見等の受任を積極的に進める。

また、ぱあとなあ千葉は、登録員が安心して社会福祉士らしい成年後見人等の活動を行えるよう、登録員をサポートできる体制づくり、新たに創設した報酬助成事業等の各種事業を行なうとともに、成年後見制度の健全な形での発展に向けたソーシャルアクションに取り組む。

運営委員会活動予定

- ① 運営委員会運営（事業予算：390,000円）
 - ・会議 年間8回（オンライン4回、集合4回）
- ② 全体会（事業予算：31,000円）

運営委員会が主催し、登録員に対し、ぱあとなあ千葉の事業に関する報告、情報提供するとともに、諸課題に関する意見交換を行なう。

 - ・会議 年1回（集合）
- ③ ぱあとなあ千葉ニュース（事業予算：175,000円）

登録員向けニュースレターの企画、編集、発行等を行なう。

 - ・発行 年4回
- ④ 渉外・ソーシャルアクション（事業予算：100,000円）

一般市民、部外関係機関等に対する広報、渉外、ソーシャルアクション等を行なう。

 - ・パンフレット作成
- ⑤ 未成年後見（事業予算：39,000円）

未成年後見受任のための体制整備を行なう。

 - ・会議 年2回（集合1回、オンライン1回）
- ⑥ 支部設立準備会（事業予算：48,000円）

各地域の支部作り（ブロック化）の準備を行なう。

 - ・会議 年2回（集合1回、オンライン1回）
- ⑦ 「登録員のしおり」作成（事業予算：200,000円）

登録員のマニュアル「登録員のしおり」の改訂、印刷・作成（400部）を行なう。

研修部会活動予定

- ⑧ 研修部会運営（事業予算：75,000円）
 - ・会議 年間3回（オンライン3回）
- ⑨ 成年後見人材育成研修（事業予算：650,000円）

基礎研修Ⅲ修了者を対象に、社会福祉士に相応しい成年後見活動を担える成年後見人の人材育成研修を行なう。

 - ・研修 年1回 対象者：基礎研修Ⅲ終了者
- ⑩ 名簿登録研修（事業予算：220,000円）

上記の成年後見人人材育成研修修了者を対象に、ぱあとなあ千葉の登録員となるための研修を行なう。

 - ・研修 年1回 対象者：人材育成研修終了者
- ⑪ 必須登録員研修（事業予算：159,000円）

登録員全員が対象。後見活動に必須となる基本知識の再確認、新知識の習得等のための研修を行なう（年1回以上の参加が、次年度の後見人等候補者推薦の要件）。

 - ・研修 年3回（参加者：登録員のべ300名）
- ⑫ ぱあとなあ千葉サポート研修（事業予算：126,000円）

実務経験3年未満の登録員を対象として、後見事務の基本知識、スキルを習得する研修を企画、実施する。

 - ・研修 年9回（参加者：登録員のべ240名）
- ⑬ レベルアップ研修（事業予算：120,000円）

<p>実務経験3年以上の登録員の知識、スキルアップに向けた研修を企画、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修 年2回（参加者：登録員のべ70名） <p>⑭ 弁護士との事例検討会事業（事業予算：220,000円）</p> <p>登録員を対象として、後見事務遂行上の法的課題に関する知識、解決方法を習得する研修を企画、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修 年6回（対象者：登録員のべ120名） <p>⑮ 支援者のための成年後見活用講座（事業予算：220,000円）</p> <p>成年後見制度の普及、利用支援等に係わる自治体、福祉関係機関の支援者を対象として、成年後見制度に関する基本知識、活用方法の習得のための研修を企画、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修 年1回（対象者：自治体、福祉関係者30名）
<p>コーディネート部会活動予定</p>
<p>⑯ コーディネート（事業予算：985,000円）</p> <p>家庭裁判所、自治体等からの後見人等候補推薦の要請を受け、事案に相応しい候補を登録員の中から選出、依頼、確定し、推薦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議 年10回（オンライン会議6回、集合会議4回） ・コーディネート作業（400件） <p>⑰ 相談事業（事業予算：610,000円）</p> <p>一般市民、自治体・福祉関係者等から、成年後見制度の活用方法等に関する相談に関して、電話、訪問・面談に応じる。</p> <p>また、ぱあとなあ千葉登録員から、成年後見人等の活動等に関する相談に関して、電話、訪問・面談に応じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話相談 年150日、訪問相談 年30件
<p>業務管理部会活動予定</p>
<p>⑱ 活動報告書読み作業（事業予算：812,000円）</p> <p>部会員が、登録員から毎年2月に提出される受任案件に関する活動報告書を読み、後見事務遂行上の課題等を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議 年2回（オンライン会議1回、集合会議1回） ・点検・読み作業（1,500件） <p>⑲ 受任者面接（事業予算：190,000円）</p> <p>活動報告書の読み等を通じ、課題を抱えている登録員、経験の浅い登録員、多数案件受任の登録員等に対して、部会員が面談し、必要な場合、指導、助言を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 年25人 <p>⑳ 法人後見事業（事業予算：272,000円）</p> <p>当会が受任した法人後見の実施、管理を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人後見受任 1件
<p>報酬助成審査会活動予定</p>
<p>㉑ 報酬助成事業（事業予算2,000,000円）</p> <p>無報酬・低報酬案件を受任した登録員に対する報酬助成制度の運用として、原資となる受任会費の徴収、報酬助成の申請受付、審査、支給に関する事務を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受任会費徴収作業 ・報酬助成受付・審査・支給作業

名簿登録
<p>② 名簿登録（事業予算 718,400 円） 成年後見人等候補者名簿への登録を行う。 ・日本会負担金 320 人×2,245 円=718,400 円</p>
<p>備考 下記事業は 2022 年度活動休止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント会議 登録員が行なう後見活動に伴うリスクの調査、対応策の検討、提案等を行なう。 ・独立型準備部会 独立型社会福祉士の養成及びネットワーク作りの支援を行なう。

(5) 司法福祉委員会
活動方針
<p>司法福祉委員会は、刑事司法ソーシャルワーカーを育て、高齢者・障害者等の被疑者・被告人の支援に弁護士と共同し福祉的支援で関わっていく。刑事司法ソーシャルワーカーとしての実質的な専門性習得を目指すため、認定機構研修の「刑事司法ソーシャルワークの実務（基礎編・応用編）」を開催する。2021 年度は Zoom 研修として開講した。2022 年度も実施する予定である。</p> <p>また、マッチング支援は、弁護士からの依頼に応じ支援件数が増えている。2020 年度は 6 件、2021 年度は 10 月末で 7 件受けている。そして、刑事司法登録者の実践力を育てるために学習会を開き、刑事司法ソーシャルワーカーの実践報告（複数回実施）や書籍「刑事司法ソーシャルワーカーの実務」の学習に力を入れる。</p>
活動予定
<p>① 委員会運営（事業予算：30,000 円） ・年間 4 回開催</p> <p>② 学習会 年間 3 回（事業予算：30,000 円） ・刑事司法ソーシャルワーカーの実践報告 ・書籍「刑事司法ソーシャルワーカーの実務」の学習</p> <p>③ 刑事司法ソーシャルワーカー養成事業 ○基礎編（事業予算：196,000 円） ・対象者：司法福祉に関心のある会員 40 名程度 ・実施時期：2022 年 11 月下旬の土日</p> <p>○応用編（事業予算：200,000 円） ・対象者：司法福祉の実践理論を学び登録員を希望する会員 40 名程度 ・実施時期：2023 年 1 月下旬の土日</p> <p>④ マッチング支援事業 弁護士からの依頼により、刑事司法ソーシャルワーカーとして登録した者が弁護士と共同し支援する。</p>

<p>(6) 災害対策委員会</p>
<p>活動方針</p>
<p>千葉県社会福祉士会大規模災害対応ガイドライン（以下、「ガイドライン」と記す。）に基づき、災害対応体制の整備・拡充、千葉県等関係団体との連携・情報共有を以下により推進する。</p> <p>①災害対応体制の整備・拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点事項 1-1 「ガイドライン」に基づく「被災地支援活動協力員名簿」の適切な維持管理に努め、災害発生時に即応できる体制を整備する。 ・重点事項 1-2 2019 年度における被災地支援活動等におけるソーシャルワーク専門職の役割の確認、被災地活動協力員の普及拡大を目的として「災害対策研修会」を開催する。 *新型コロナウイルス感染症の状況により開催時期を検討 ・重点事項 1-3 「ガイドライン」に基づく被災地支援活動に従事した会員等に対する旅費及び活動費補助等の充実を検討し、安心して被災地支援活動に参加できる体制の整備を図る。 <p>②他団体との連携・情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点事項 2-1 日本社会福祉士会及び同会関東甲信越ブロックにおける災害支援連携会議・研修会等への参加を通じて、他都道府県社会福祉士会との連携・情報共有を図る。 ・重点事項 2-2 千葉県災害ボランティアセンター連絡会における 9 都県市合同防災訓練・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等への参加を通じて、関係団体との連携・情報共有を図る。 ・重点事項 2-3 千葉県災害復興支援士業ネットワークへの参加を通じて、千葉県弁護士会等専門職団体との連携・情報共有を図る。 <p>③「千葉県災害福祉支援ネットワーク」への参画推進</p> <p>2020 年 7 月に千葉県等との間で締結した「災害福祉支援チーム（DWAT）派遣に関する基本協定書」に基づく標記「ネットワーク」への参画を以下により推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点事項 3-1 ワーキンググループ等の場で、ソーシャルワーク専門職の視点からの提言を積極的に行う。 ・重点事項 3-2 「千葉県災害福祉支援ネットワーク」に関して、千葉県社会福祉士会会員に対する情報発信を行い、「災害福祉支援チーム（DWAT）」への意識啓発・登録促進を図る。
<p>活動予定</p>
<p>① 委員会運営（事業予算：50,000 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議・訓練等への参加

(7) その他
① 千葉県社会福祉士会倫理委員会
会員による倫理綱領違反等が疑われる事案が発生した場合、苦情手続規則に基づき倫理委員会が審査を行い、本会に所属する社会福祉士の倫理及び資質の向上に努めていく。
② 松戸市居住不安定者等居宅生活移行支援事業業務受託
<p>2016年度から松戸市より委託を受けている本事業も6年目に入り、本業務は、住まいを失った、又は失うおそれのある生活困窮者及び生活保護受給者（以下「生活保護受給者等」という）に対し、民間賃貸住宅又は社会福祉法に規定する事業を行うための施設等（無料低額宿泊所等を除く。以下「社会福祉施設」という）への入居（以下「居宅生活移行」という）を促進するとともに、居宅生活移行後も地域での安定した生活を維持し円滑に定着できるように継続して支援し、もって自立を促進することを目的とする業務である。</p> <p>具体的には、（1）支援対象者に対し、居宅生活移行に関する次の相談支援業務を行う。① 無料低額宿泊所等の入居者に対する社会的自立支援に関すること。② 居住先となる民間賃貸住宅及び社会福祉施設の確保支援に関すること。③ 家賃滞納者等の家賃の代理納付の推進に関すること。（2）支援対象者に対し、居宅生活移行後の地域生活の定着・維持に関する次の相談支援業務を行う。① 年齢や心身の状況などに応じた支援策の策定に関すること。② 円滑な地域生活への移行及び安定した地域生活の定着・維持のための支援に関することを常勤1名非常勤1名を配置して事業受託を継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 想定委託期間：2022年4月1日から2023年3月31日まで ・ 想定委託金額：12,511,287円

2021年度収支予算書

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位：円)

科目			2021予算(補正反映後)			2022予算		
大項目	中項目	小項目	(決算収入)	(決算支出)	収入-支出	(収入)	(支出)	収入-支出
1	会費		26,062,000	8,376,800	17,685,200	28,042,000	9,417,700	18,624,300
	1	会費	23,002,000	7,660,000	15,342,000	24,772,000	8,750,000	16,022,000
	1	正会員	22,980,000	7,660,000	15,320,000	24,750,000	8,000,000	16,750,000
	2	準会員	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000
	3	賛助会員	12,000	0	12,000	12,000	0	12,000
	4	負担金 (2022年度～会費規則第2号)	0	0	0	0	750,000	△ 750,000
	5	入会金	0	0	0	0	0	0
	2	ばあとなあ登録料	3,060,000	716,800	2,343,200	3,270,000	667,700	2,602,300
	1	ばあとなあ名簿登録料	2,990,000	716,800	2,273,200	3,200,000	667,700	2,532,300
	2	ばあとなあ準会員登録料	70,000	0	70,000	70,000	0	70,000
2	事業費		25,391,394	23,890,842	1,500,552	28,736,287	27,623,797	1,112,490
	1	総務事業	48,000	1,043,500	△ 995,500	150,000	1,241,500	△ 1,091,500
	1	企画部会運営費	0	22,500	△ 22,500	0	22,500	△ 22,500
	2	SW3団体及びその他職能団体との 協働事業費	0	0	0	0	30,000	△ 30,000
	3	福祉職地域交流促進事業費	0	85,000	△ 85,000	0	245,000	△ 245,000
	6	広報誌作成費	48,000	860,000	△ 812,000	150,000	862,000	△ 712,000
	8	広報部会運営費	0	68,000	△ 68,000	0	74,000	△ 74,000
	9	WEB維持管理費	0	8,000	△ 8,000	0	8,000	△ 8,000
	2	総合相談事業	1,464,000	890,000	574,000	1,484,000	955,000	529,000
	1	総合相談委員会運営費	0	0	0	0	0	0
	2	高齢者虐待防止対策研修会(県事 業)	1,364,000	800,000	564,000	1,364,000	800,000	564,000
	3	高齢者虐待対応専門職チーム	100,000	90,000	10,000	120,000	100,000	20,000
	6	千葉県高齢者虐待対応マニュアル 改訂事業	0	0	0	0	0	0
	7	総合相談業務を担う社会福祉士の 集い	0	0	0	0	55,000	△ 55,000
	3	研修事業	7,821,500	4,640,000	3,181,500	7,475,000	5,318,000	2,157,000
	1	研修委員会運営費	0	150,000	△ 150,000	0	226,000	△ 226,000
	2	県民公開講座(研究大会・総会)	0	0	0	0	0	0
	3	基礎研修Ⅰ	649,500	443,200	206,300	600,000	445,000	155,000
	4	基礎研修Ⅱ	1,900,000	859,400	1,040,600	2,500,000	1,280,000	1,220,000
	5	基礎研修Ⅲ	2,250,000	1,056,400	1,193,600	1,500,000	1,235,000	265,000
	6	ジェイシー教育研究所web模試 問題作成	1,430,000	1,087,000	343,000	1,430,000	1,127,000	303,000
	7	社会福祉士取得支援講座(和洋女 子大学)	700,000	380,000	320,000	700,000	380,000	320,000
	8	実習指導者講習会	400,000	300,000	100,000	350,000	325,000	25,000
	10	淑徳大学講師派遣	480,000	350,000	130,000	380,000	285,000	95,000
	12	社会福祉士ワンアッパ研修(基礎 研終了者)	0	0	0	0	0	0

科目			2021予算(補正反映後)			2022予算		
大項目	中項目	小項目	(決算収入)	(決算支出)	収入-支出	(収入)	(支出)	収入-支出
	14	グループワーク研修	0	0	0	0	0	0
	16	先輩SWへの学び研修 (旧この指と〜まれ)	12,000	14,000	△ 2,000	15,000	15,000	0
	4	ばあとなあ千葉運営事業	3,092,000	5,325,500	△ 2,233,500	5,886,000	7,642,000	△ 1,756,000
	1	ばあとなあ委員会運営費	0	322,500	△ 322,500	0	390,000	△ 390,000
	3	相談事業	0	450,000	△ 450,000	0	610,000	△ 610,000
	4	成年後見制度活用講座	0	10,000	△ 10,000	300,000	220,000	80,000
	5	成年後見人材育成研修(委託研修)	0	60,000	△ 60,000	1,800,000	650,000	1,150,000
	6	法人後見事業	216,000	216,000	0	216,000	272,000	△ 56,000
	7	活動報告書読み込み作業	0	700,000	△ 700,000	0	812,000	△ 812,000
	9	渉外・ソーシャルアクション	0	76,000	△ 76,000	0	300,000	△ 300,000
	10	受任者面接	0	125,000	△ 125,000	0	190,000	△ 190,000
	11	ばあとなあ千葉ニュース	0	210,000	△ 210,000	0	175,000	△ 175,000
	12	コーディネート会議	0	960,000	△ 960,000	0	985,000	△ 985,000
	13	名簿登録研修	170,000	205,000	△ 35,000	280,000	220,000	60,000
	14	必須登録員研修	240,000	140,000	100,000	270,000	159,000	111,000
	15	千葉サポート	228,000	120,000	108,000	240,000	126,000	114,000
	16	レベルアップ研修	0	0	0	140,000	120,000	20,000
	17	家裁事務報告書指導	0	0	0	0	0	0
	18	テーマ別弁護士との事例検討会	0	0	0	240,000	220,000	20,000
	20	関東甲信越ブロック連絡会	0	0	0	0	0	0
	21	ばあとなあ千葉全体会	0	31,000	△ 31,000	0	31,000	△ 31,000
	22	個人情報保護 相談委託業務	0	0	0	0	0	0
	24	未成年後見	0	0	0	0	39,000	△ 39,000
	25	研修部会運営	0	0	0	0	75,000	△ 75,000
	26	報酬助成事業(受任会費含む)	2,238,000	1,700,000	538,000	2,400,000	2,000,000	400,000
	27	支部設立準備事業	0	0	0	0	48,000	△ 48,000
	5	司法福祉	665,000	416,000	249,000	1,230,000	560,000	670,000
	1	司法福祉委員会運営費	0	30,000	△ 30,000	0	30,000	△ 30,000
	2	司法福祉学習会	0	16,000	△ 16,000	30,000	30,000	0
	3	刑事司法SW養成講座(基礎)	330,000	160,000	170,000	600,000	250,000	350,000
	4	刑事司法SW養成講座(応用編)	335,000	210,000	125,000	600,000	250,000	350,000
	5	マッチング支援	0	0	0	0	0	0
	6	災害対策	0	20,000	△ 20,000	0	50,000	△ 50,000
	1	千葉県社会福祉士会災害対策委員会	0	20,000	△ 20,000	0	50,000	△ 50,000
	2	災害対策研修	0	0	0	0	0	0

科目			2021予算(補正反映後)			2022予算		
大項目	中項目	小項目	(決算収入)	(決算支出)	収入-支出	(収入)	(支出)	収入-支出
	7	その他	12,300,894	11,555,842	745,052	12,511,287	11,857,297	653,990
	1	千葉県社会福祉士会倫理委員会	0	100,000	△ 100,000	0	300,000	△ 300,000
	2	社会福祉士ささえあい制度配分委員会	0	0	0	0	0	0
	3	選挙管理委員会	0	70,000	△ 70,000	0	0	0
	4	法人後見監査業務委員会	0	80,000	△ 80,000	0	80,000	△ 80,000
	5	居住確保支援事業	12,300,894	11,285,842	1,015,052	12,511,287	11,477,297	1,033,990
	7	社会福祉士会活性化事業	0	0	0			0
	8	講師派遣事業	0	20,000	△ 20,000			0
	9	ICT推進委員会	0	0	0	0	50,000	△ 50,000
	3	事務費	0	18,065,000	△ 18,065,000	0	20,126,790	△ 20,126,790
	1	消耗品費	0	300,000	△ 300,000	0	450,000	△ 450,000
	2	印刷製本費	0	700,000	△ 700,000	0	710,000	△ 710,000
	3	通信運搬費	0	1,000,000	△ 1,000,000	0	1,000,000	△ 1,000,000
	4	慶弔費	0	0	0	0	30,000	△ 30,000
	5	賃金等	0	10,370,000	△ 10,370,000	0	11,350,000	△ 11,350,000
	6	法定福利費	0	1,550,000	△ 1,550,000	0	1,400,000	△ 1,400,000
	7	水道光熱費	0	140,000	△ 140,000	0	80,000	△ 80,000
	8	賃借料	0	1,750,000	△ 1,750,000	0	2,265,000	△ 2,265,000
	9	委託料	0	1,100,000	△ 1,100,000	0	1,354,000	△ 1,354,000
	10	役員報酬	0	500,000	△ 500,000	0	937,500	△ 937,500
	11	役員旅費	0	50,000	△ 50,000	0	200,000	△ 200,000
	12	役員選挙事務費	0	330,000	△ 330,000	0	0	0
	13	保険料	0	40,000	△ 40,000	0	40,000	△ 40,000
	14	会議費	0	10,000	△ 10,000	0	30,000	△ 30,000
	15	諸会費	0	25,000	△ 25,000	0	30,000	△ 30,000
	16	雑費	0	200,000	△ 200,000	0	250,290	△ 250,290
	4	助成金	1,100,000	0	1,100,000	0	0	0
	5	寄付金	0	0	0	0	0	0
	6	繰越金	0	0	0	2,000,000	0	2,000,000
	7	雑収入	0	0	0	90,000	0	90,000
	8	租税公課	0	700,000	△ 700,000	0	700,000	△ 700,000
	9	敷金支出	0	0	0	0	0	0
	10	予備費	0	300,000	△ 300,000	0	1,000,000	△ 1,000,000
	11	配分金	0	0	0	0	0	0
		総計	52,553,394	51,332,642	1,220,752	58,868,287	58,868,287	0

報告第2号 事業と予算のあり方検討委員会「事業と予算のあり方」について報告書概要

一般社団法人千葉県社会福祉士会の「事業と予算のあり方」について（報告書）の概要

事業と予算のあり方についてのこの報告書は、当会の設立趣旨及び福祉専門職の公益的法人としての役割に大きくかかわることから、当会の活動、運営等に関する幅広い内容の提案になっており、各種の取り組みにあたっては一般会員の意見を踏まえるとともに、理事会における十分な議論と責任において具体化されることを期待する。

また、公益社団法人日本社会福祉士会の「財政基盤の確保及び事務局体制の強化に向けた提案書（二〇二一年三月二十日臨時総会で承認、以下「日本会提案書」という。）」に当会の課題解決に向けて参考になることが提案されており、当会としても必要のある事項は連携して取り組むべきであることを申し添える。

一 財政基盤の強化のための組織率の向上について

適正な組織運営は、強固な財政基盤なくして不可能である。収入の多くを会員の会費に依存している組織体として、組織率の向上が最重要課題である。

（一）入会促進及び退会抑制について

- ・令和四年度からの「三十歳以下新規加入年度、入会金及び年会費免除の周知徹底、組織率向上
- ・当会独自のパンフレットの活用
- ・地域集会の活性化
- ・若年層が求めている研修、参加しやすい活動

（二）魅力ある組織づくり（委員会の再編等）

- ・多くの県民、社会福祉関係者、社会福祉士等に魅力ある組織体として発信していくことが求められている。
- ・委員会の再編の検討、委員会ごとにリーフレットの発行
- ・地域・職域での活動を通じた活動により、参加率の向上や会員が楽しめる委員会活動

二 事業のあり方について

適宜変化する福祉ニーズ、県民や会員のニーズに対応するために次のとおり提案する。

（一）公益的事業について

相談援助事業、県民講座、広報事業、県や市町村からの受託事業等への取組み、社会福祉に関する調査研究、普及啓発事業、福祉人材育成事業等は、収入に結びつかないことを理由に消極的であってはならない。

（二）研修等の会員を対象とした事業について

- ・研修ニーズに十分応えているか検証し、更なる充実。

（三）受託事業について

- ・千葉県や市町村、福祉関係団体等からの委託事業の拡大に積極的に取り組む。
- ・事業を受託する場合、責任ある体制づくりのために、中心となる担い手づくりの育成が必要
- ・受託事業の収入が当会の安定的な運営につながることはいうまでもない。

三 予算について

公益的法人としての社会的責任と組織の存続に影響することであり、当会の安定的な運営のためにも総会、理事会等で慎重な議論がなされるべきと考える。

そこで、予算編成の現状を踏まえ、次のとおり提案する。

なお、当会の最終的な収支の差は正味財産の増減で調整する運用が行われている。

（一）予算編成について

- ・事業の必要性、その効果について、関係委員会で十分議論し必要な予算を計上することとし、常に見直しを行い、新規事業を採用し、費用対効果を検証

(二) 予算（事業）執行について

- ・理事会における予算の未執行見込み、事業実施上の課題、予算の補正を年度途中で適宜適切に行うこと。

四 事務費等の管理経費について

最小の経費で最大の効果を求めることは組織運営の要諦であり、事務費等の管理的経費の効率化、合理的執行のために次のとおり提案する。

(一) 役員等に対する報酬について

①会員の活動報酬等について

- ・会員が委員会活動等を行った際の報酬（活動報酬）の支給基準を明確化
- ・当会からの依頼や推薦により講師や各種の委員等に就任した場合に受け取る報酬に対する負担金規則（規則第五号）の運用及び負担のあり方を明確にする基準作り

②役員報酬について

- ・役員報酬のあり方や、その扱いの議論

(二) 管理的経費について

①事務費について

- ・消耗品、印刷製本費、通信運搬費等の事務費について、常に効率化をはかり節減に努めるべきであるとする。
- ・新たな会議スタイルの模索と併せて、ICTの積極的活用により経費の節減。
- ・定型的な事務の外部への事務委託などの検討
- ・但し、新たなシステムや機器導入及び外部委託の検討にあたっては、費用対効果にも十分留意し、経費の増大につながるものがあってはならない。

②業務管理等について

- ・適切な人事管理
- ・役員と事務局職員との日頃からのコミュニケーションや委員会等の業務や活動等の中での、信頼関係を深める
- ・事務執行及び業務監督、働き方や活動等のあり方について、十分な話し合いのもと効率的なあり方の検討が必要
- ・職員給与規程（規程第九号）については、職員の理解を得ながら適切な運用

(三) ばあとなあ千葉に関する業務運営について

- ・運営委員会業務及び事務局事務の内容・量、役割分担を精査し、事務執行体制の効率化を図るとともに、事務負担のあり方の検討

(四) 会員管理及び会費徴収事務について

- ・経費のあり方も含めた検討

五 日本会提案書について

日本会提案書は、当会の課題と共通する多くの項目について議論され提案されている。ここでは、当会の予算と事業のあり方にかかわることについて項目のみを示す。

①入会促進及び退会抑制について

②事務局業務の支援

③内外に向けた情報発信力の強化

④財政にかかる事項

⑤提案事項のまとめ

当会にとっても参考になることは日本会提案書との整合を図りつつ取り組むべきと考える。

六 その他

(一) 政策提言能力の向上

- ・シンクタンク機能を充実させ政策提言機能を高める。

・住民参加の場である行政機関における計画策定場面や各種審議会、運営委員会等へ委員の推薦等を通じてこれまで以上の参画

・委員の推薦にあたっては、特定の会員に固定することなく、一定の年限を設け、新たな委員を推薦することにより人材育成の機会の拡大を図るべきと考える。

(二) 会員の交流促進

- ・地域集会を企画する世話人への新規会員情報の共有
- ・理事、代議員の地域集会に参加による地域集会の活性化
- ・地域集会のあり方の活性化を含めた根本議論

(三) 「談話室」の開設

- ・当会の事務所の移転を機に、定期的に気軽に立ち寄れるような会員交流の場「談話室（仮称）」開設の検討

七 参考意見

本報告書の提案項目としては整理できなかったが、各委員の意見の主なものは次のとおりである。（順不同、委員名省略）

- ①他団体の社会福祉士会の事業や予算、業務執行の状況を参考にするための調査の実施を提案する。
- ②本会役員は、それぞれの本来業務を抱えながら貴重な時間を割いて会の業務運営のために尽力している。個々の役員のボランティア精神に甘えることなく、役員としての業務執行のあり方や責務について議論することが必要と考える。
- ③国家資格者で構成されている法人の役割として、公益の事業にも積極的に取り組むことが必要ではないか。
- ④当会の正味財産は、事務費の2年から三年分程度であり、法人としての安定した組織運営、事業の継続等のためにもこれ以上削減すべきではないと考える。
- ⑤中長期的収支見通しとしては、収入の減少、支出の増加が基調にあり、法人としての安定的運営のためにも、具体的取り組みが必要とおり、その時期でもある。
- ⑥事務局のマネジメント強化のために、常勤的事務局長または事務次長等を採用、配置すべきではないか。特に、経理のスペシャリストの配置が望まれる。
- ⑦管理的経費の削減は役員等の事務負担が増えること、および、事務局職員のモチベーションへの配慮と事務局職員の協力が必要になると考える。

(別記1)

事業と予算のあり方検討委員会の会議日程等

第一回（二〇二一年 三月一二日）

スケジュール、収支の状況、管理的経費等、役員報酬

第二回（四月二日）

収支の状況、事務局の体制、事務執行と業務内容、ばあとなあの運営のあり方

第三回（四月二三日）

事務局業務のあり方、業務管理、役員の負担、

第四回（五月二一日）

事務局長の配置、事務費等、会員管理業務のあり方

第五回（六月二五日）

会費の増強と会員の増加、事務局の管理と体制

第六回（七月三〇日）

事業と委員会のあり方、社会福祉士会の役割、入会促進策（ソーシャルアクション、パンフレットの活用）

第七回（八月二〇日）

総括的議論、報告書案、
理事会（九月五日）に報告

（別記2）

事業と予算のあり方検討委員会 委員構成

古澤 肇（委員長）理事、副会長

山口 利史 理事、副会長

樽林 元樹 理事、事務局長

四ノ宮 章 理事、ぱあとなあ千葉運営委員会

長嶋 祐一 理事、研修委員会

市原 久夫 監事

岡本 武志 相談役、（元理事、元事務局長）

報告第3号 「経営戦略会議」第1回～6回まとめについて

令和3年度第1～6回経営戦略会議 まとめ

開催日

令和3年10月16日、12月12日

令和4年2月13日、3月13日、4月9日、5月1日

一般社団法人千葉県社会福祉士会「事業と予算のあり方」について(報告書)に基づき、現在取り組めること、また取り組みに向けての方向性について、経営戦略会議で議論し整理を進めた。

※経営戦略会議のメンバーは、現内部理事、監事、相談役、事務局次長、元理事 計21名で行った。

○実施済みまたは今年度中(今期6月迄)に実施できるもの

●中期的スパン(2年程度)で議論するもの

■長期的スパン(4～5年)で議論するもの

→担当部署

1. 財政基盤の強化のための組織率の向上について

「魅力アップ・組織率向上委員会」「千葉県社会福祉士会10年ビジョン」

●三役会中心に議論し、次期任期中で、理事会で決定する。

(1) 入会促進及び退会抑制について

○若年層の入会金及び会費免除

→次年度から実施。

○社会福祉士試験受験者向けの地域集会

→R3.3.16開催。

R4に向けて、世話人会議で、新規入会促進と、入会した方の受け皿づくりを議論した。

(2) 魅力ある組織づくり(委員会の再編等)

○小規模な研修(講師謝礼1万円まで)

地域集会要綱見直し

世話人が認めれば、地域集会として位置付けるため要綱改訂案を企画部会で検討し、今期理事会で図る。

●大規模な研修

会に持ち込み、企画できる仕組みを検討する

●委員会の再編

総合相談委員会、研修委員会について、今後に向けた委員会の位置づけ、役割の見直し、委員会全体の再編の検討をする

2. 事業のあり方について

(1) 公益事業について

●広義にとらえ、積極的に取り組む

(広義)会として、広くみんなのための取り組み

(狭義)公益目的支出 ※一般社団法人として会の財産をとして報告を出しているもの。(例)ぱあとなあ電話相談、災害派遣、ホームレス巡回相談 既に実施

(2) 研修等の会員を対象とした事業について

●研修内容の見直し

→研修委員会、他各委員会

現状、基礎研修、ぱあとなあ等、日本会等からの指定カリキュラムを開催、運営することで精一杯の面がある。新しい会員向けのメニューの検討は難しい現状がある。会員のニーズに合わせた新たな研修を企画できる体制づくりも踏まえ検討する。

(3) 受託事業について

●■委託事業の拡大

(現状)

・県からの障害支援専門員研修受託

他の主体が積極的になってきており、本会としては積極的には手を挙げない、

・地域包括支援センターの現任研修

担い手となれる人がいるかどうかで判断

・高齢者虐待現任研修、虐待対応チーム派遣

現状で実施中。一部、外部委託を検討。

3. 予算について

(1) 予算編成について

(参考意見) 予算編成における上限設定等新たな取り組みの検討

○あり方委員会等で、予算削減に向けた意識づけが進んだため、各委員会、予算作成時に積算根拠を綿密にし、削減に向けた調整がしやすくなった。

(2) 予算(事業)執行について

○年度途中の執行状況の確認

予算作成の前には、決算見込みの状況をしっかり抑えたうえで、各委員会、理事会で執行状況を把握したうえで調整する。年度途中での予算の執行状況については、理事会で確認をしていく方向とする。

4. 事務費等の管理経費について

(1) 役員等に対する報酬について

●会員の活動報酬

・現状をもとに、活動報酬、講師謝礼一覧を作成した。理事会で共通認識を図る。

②役員報酬について

●赤字予算解消されたため、理事の報酬辞退はしなかった。

●報酬等に関する規則改定案を作成し総会へ諮る

(事務局職員のマネジメント、決裁権者との調整、事務局職員が行った事務処理の決裁確認のため、事務局において事務処理を行った場合 1800円/h)

(2) 管理的経費について

①事務費について

○ICT化の検討

プロジェクトチームで神奈川県社会福祉士会へ視察、今後、新たな管理システムや仕組みの導入の検討をし、ICT活用による事務業務の効率化、申し込み手続き等の簡略化に繋がるよう進めていく。会全体でのプロジェクトチーム等を検討し、推進していく。

○家賃コスト、人的コスト削減のための事務局を外部委託という議論もでていたが、他のコスト抑制で収支がとれたため、なしとなった

●会の活動、業務について、一部委託が効果的な場合には、その都度検討する。

②業務管理について

○役員が週2回、1日4時間を目安に事務局で作業した場合の報酬額を規定、1800円/hで、理事会に提案

(3) ぱあとなあ千葉に関する業務運営について

●受任会費の使途と事務執行体制について

→受任会費の使途拡大や上限、事務分担については、運営委員会で検討、提案→理事会へ

(4) 会員管理及び会費徴収事務について

○現状維持

5. 日本会提案書について

→省略

6. その他

(1) 政策提言能力の向上

○●委員の推薦について

→推薦要件、任期の問題等あり方の検討が必要。

→三役会

□講師バンク

組織率向上委員会、委員会再編と併せて長期的に検討していく

(2) 会員の交流促進

○地域集会のあり方を柔軟にすることで活性化をはかる。

(3) 「談話室」の開設

○土日の理事会後オンラインなどを活用し、会員に理事会を傍聴してもらい、理事会後に時間を設け、意見交換等を実施していく提案あり。

事務局に談話室を設け、会員との交流を図る提案もあり。また、日常の中でのやりとりの中でのコミュニケーションでよいのではという意見もあり。